





AT2020USB-XP

カーディオイドコンデンサーUSBマイクロホン



取扱説明書

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために次の内容を必ずお守りください。

 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

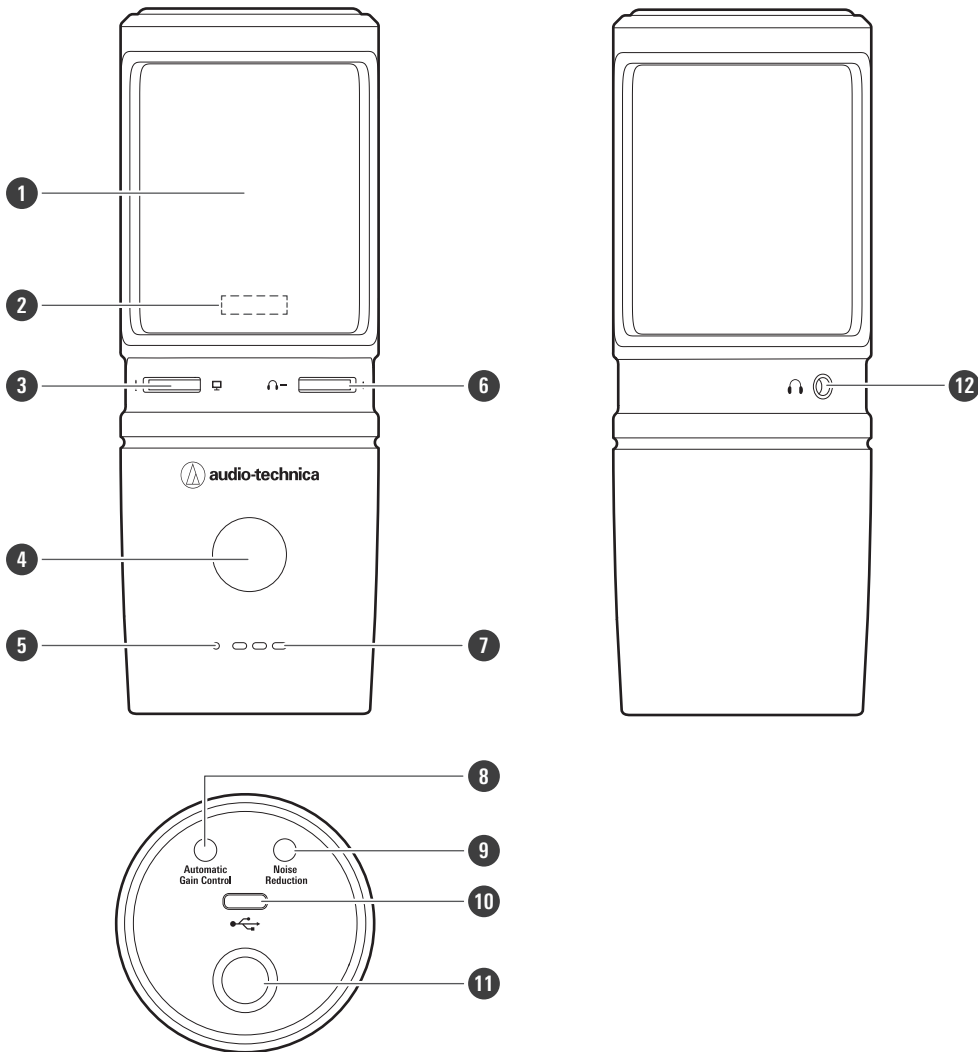
 警告	<ul style="list-style-type: none">• 強い衝撃を与えないでください。• 分解、改造、修理を行わないでください。• 濡れた手で触れないでください。感電やけがの原因になります。
 注意	<ul style="list-style-type: none">• 直射日光の当たる場所、暖房装置の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- 接続の際は、付属のUSBケーブルを使用してください。
- USBケーブルは必ずプラグを持って抜き差ししてください。USBケーブルを引っ張ると事故や断線の原因になります。
- USBケーブルを使用する際は、USBケーブルの損傷を防ぐため、ねじれないように注意してください。
- プラグの根元部分ではUSBケーブルを巻かないでください。断線する恐れがあります。
- USBハブおよびUSB延長ケーブルは使用しないでください。
- USBケーブルをマイクロホン本体と接続する機器に差し込むときは、接続先の形状を確認のうえ、真っすぐに差し込んでください。プラグを斜めに差し込もうとすると故障の原因になります。
- 使用しないときは、本製品からUSBケーブルを取り外してください。
- 本製品のメッシュ内部に異物が入らないようにしてください。性能が低下する場合があります。
- 本製品を設置するテーブルの表面処理によっては、デスクスタンドの跡がテーブルに残る場合があります。
- 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録りを行い、正常に録音されていることをご確認ください。
- すべてのパソコンでの動作保証をするものではありません。
- 自作パソコンおよびOSの個人でのアップグレード、マルチブート環境では動作保証できません。
- 本製品を接続した機器にインストールされたソフトおよびデータなどは、補償いたしかねますのでご了承ください。

各部の名称と機能

マイクロホン

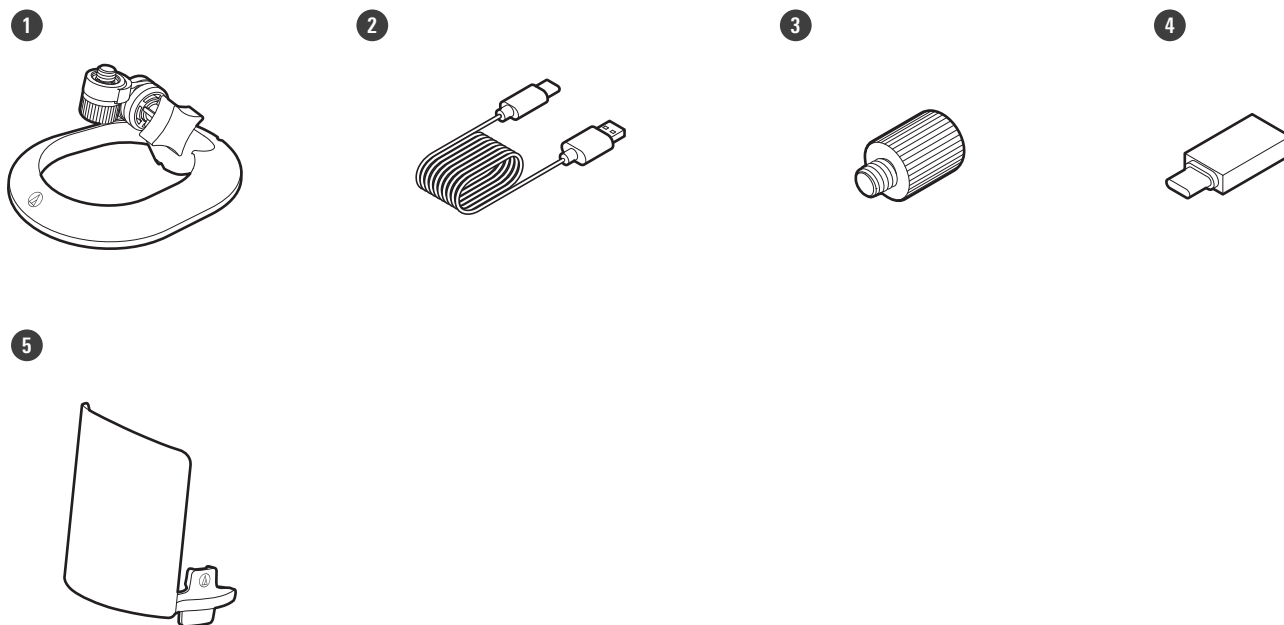


- ① マイクロホン本体
- ② ミュートインジケータ
音声入力可能状態のときは青色に点灯します。ミュート状態のときは赤色に点灯します。
- ③ ミキサー調整ダイヤル
入力中音声のモニター音量レベルと、パソコンで再生している音源の音量レベルとのバランスを調整します。
- ④ ミュートタッチセンサー
マイクロホンのミュートON/OFFを行います。
- ⑤ オートゲインコントロールインジケータ
オートゲインコントロール機能がONのときに点灯します。
- ⑥ ヘッドホン音量調整ダイヤル
ヘッドホン出力の音量を調整します。

各部の名称と機能

- ⑦ **ノイズリダクションインジケータ**
ノイズリダクション機能がONのとき、レベルに応じて3段階で点灯します。
- ⑧ **オートゲインコントロールボタン**
オートゲインコントロール機能のON/OFFを行います。ONにすると入力信号が過大だった際にゲインを自動で補正し、出力が歪むのを防止します。
- ⑨ **ノイズリダクションボタン**
ノイズリダクション機能のON/OFFを行います。ONにすると周囲の定常的騒音を低減します。ボタンを押すたびに機能レベルを3段階で設定できます。
- ⑩ **USB 端子 (USB Type-C™)**
付属のUSBケーブルを接続します。
- ⑪ **取り付け用ねじ穴 (ねじ径3/8インチ)**
スタンドを取り付ける際に使用します。
- ⑫ **ヘッドホン出力端子 (φ3.5mmステレオミニジャック)**
ヘッドホンを接続します。

付属品



- ① スタンド
- ② USBケーブル (USB Type-C - USB Type-A)
- ③ 変換ねじ (3/8"-16 - 5/8"-27)
- ④ USB変換アダプター (USB Type-A - USB Type-C)
- ⑤ ポップフィルター (AT8175)

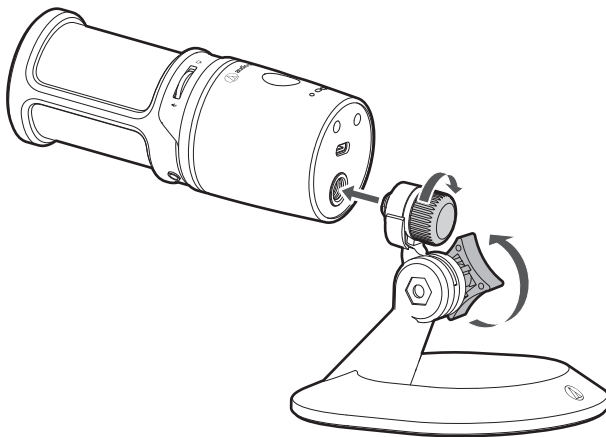
本製品の設置について

本製品を最適な環境でご使用いただくためには、音源がマイクロホンの正面に配置されるように設置してください。ナレーションなどで使用する場合は、話し手／歌手の正面に設置してください。アコースティックギターやドラム、ピアノなどの楽器の音を録音する場合も同様です。設置場所をいろいろと試し、使用する環境で最適な音声が録音できるように確認してからご使用ください。

スタンドを取り付ける

スタンドを使用して、本製品を卓上などに置いて使用できます。

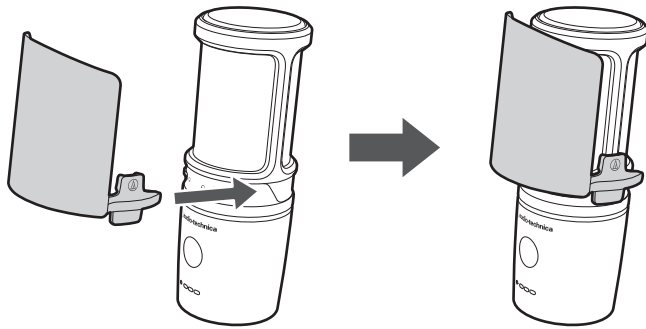
- 1 本製品の取り付け用ねじ穴にスタンドを取り付けて、ねじ部分を回して取り付けます。そのあと、本製品の角度を調整して、スタンドのグリップを回して締めます。



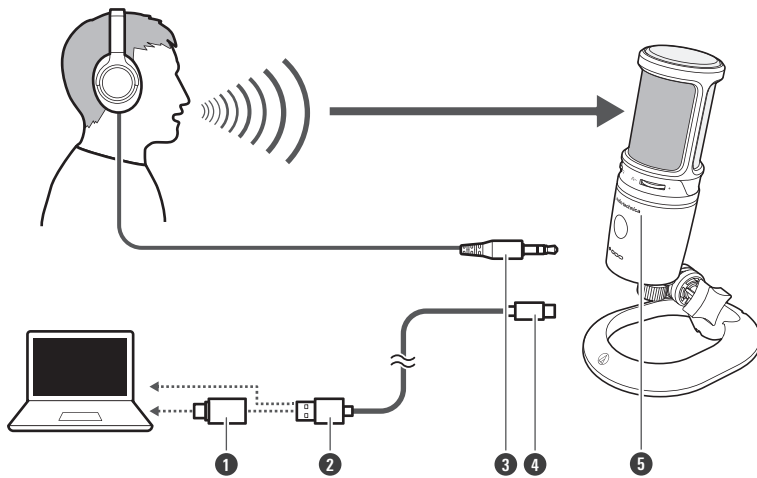
- 市販のマイクロホンスタンドに設置するときなどの場合は、付属の変換ねじ（3/8"-16-5/8"-27）を使用してください。

ポップフィルターの取り付けかた

- 1 マイクロホンを傷つけないよう、取り付け部分を少し広げながら取り付けます。



接続のしかた



- ① USB変換アダプター (USB Type-A - USB Type-C)
- ② USB Type-A
- ③ ヘッドホンの入力プラグ
- ④ USB Type-C
- ⑤ オーディオテクニカロゴ

1 USBケーブル (USB Type-C側) を本製品の底部にあるUSB端子に接続します。

2 USBケーブル (USB Type-A側) をパソコンに接続します。

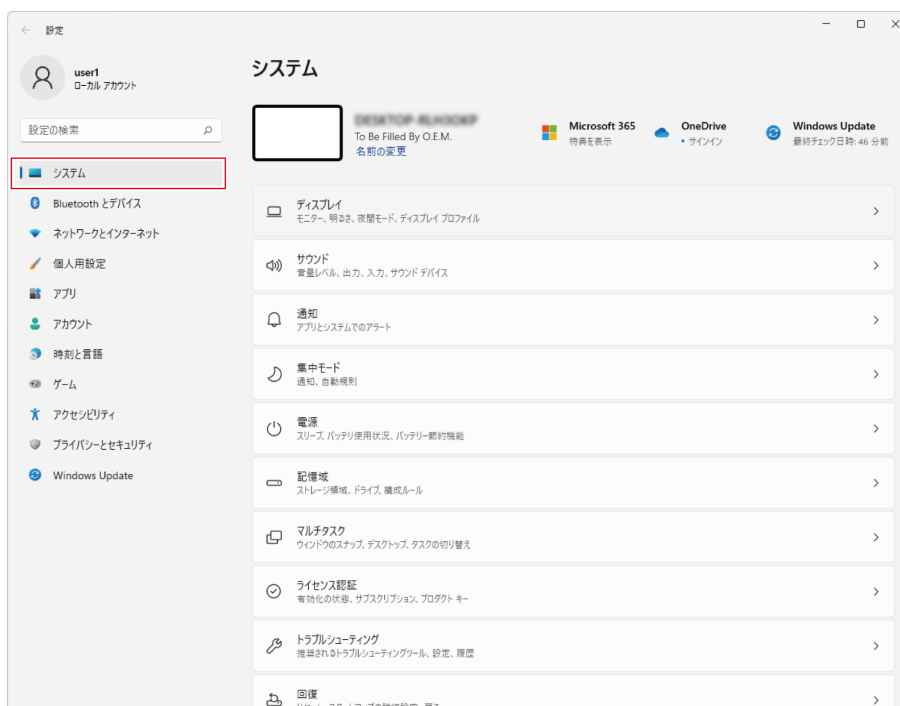
- お使いのパソコンのUSB端子によって、USB変換アダプター (USB Type-A - USB Type-C) をお使いください。USB変換アダプターは、パソコン側のUSB端子に使用してください。本製品側のUSB端子には接続しないでください。
- Windowsを使用している場合は、「パソコンの設定 (Windows)」 (p.8)を参照し、設定を行ってください。
- Macを使用している場合は、「パソコンの設定 (macOS)」 (p.33)を参照し、設定を行ってください。
- ミュートインジケーターが青色 (音声入力可能状態) に点灯することを確認してください。

3 ヘッドホンを使用する場合は、ヘッドホン出力端子にヘッドホン接続します。

パソコンの設定 (Windows)

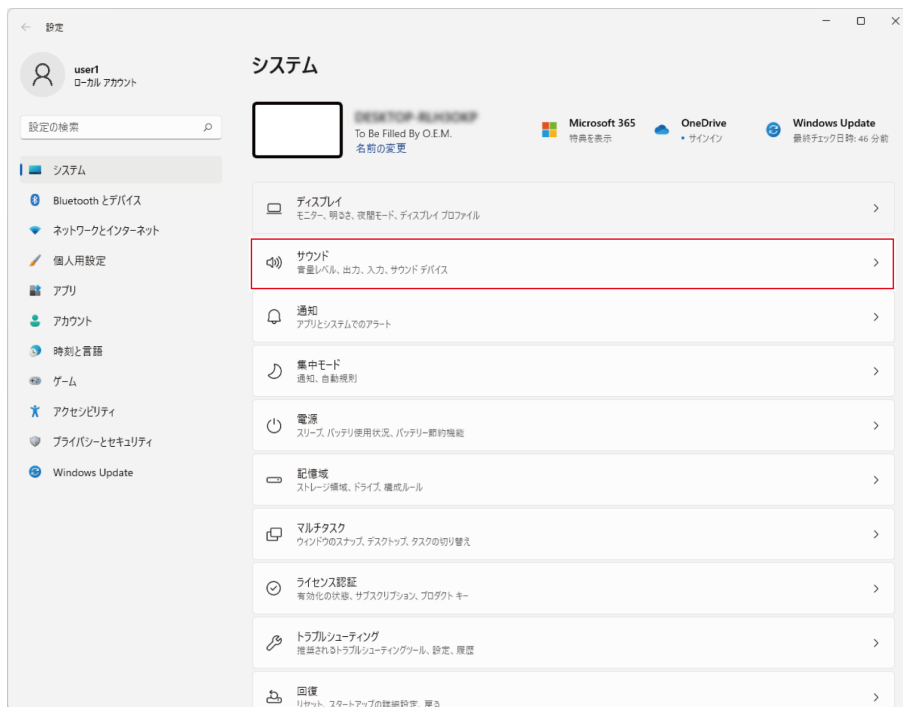
Windows 11の場合

- 1 本製品とパソコンをUSBケーブルで接続します。
- 2 本製品のミュートインジケータが点灯していることを確認します。
 - パソコンが本製品を自動的に認識し、パソコンにドライバーがインストールされます。画面右下に、新たなハードウェアが見つかったことを示すメッセージ、またはドライバーソフトウェアのインストールを知らせる内容が表示されます。
- 3 「スタートメニュー」をクリックし、「設定」を選択します。
- 4 「システム」を選択します。



- 5 「サウンド」を選択します。

パソコンの設定 (Windows)



6 「出力」および「入力」で、本製品が選択されていることを確認します。

- 出力デバイスとして本製品以外のデバイスを使用する場合は、「サウンドを再生する場所を選択」から選択してください。
- 音声の録音に市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、「マイクロホンのプライバシー設定」(p.10)を参照し、設定を行ってください。

パソコンの設定 (Windows)

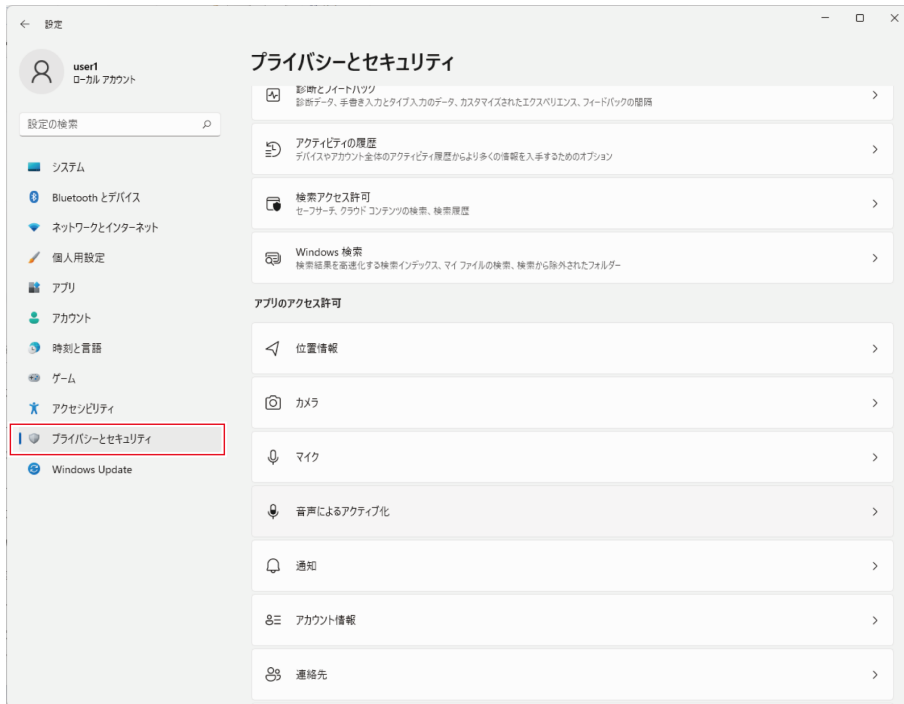


マイクロホンのプライバシー設定

市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、マイクロホンのプライバシー設定を確認してください。

- 1 「スタートメニュー」をクリックし、「設定」を選択します。
- 2 「プライバシーとセキュリティ」を選択します。

パソコンの設定 (Windows)

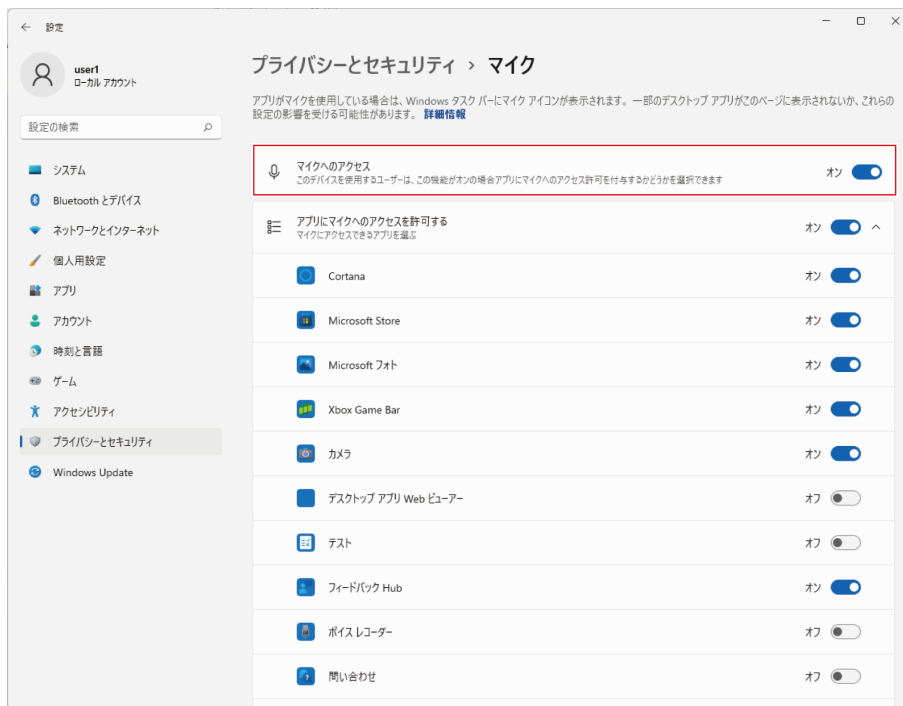


3 「アプリのアクセス許可」で、「マイク」を選択します。



パソコンの設定 (Windows)

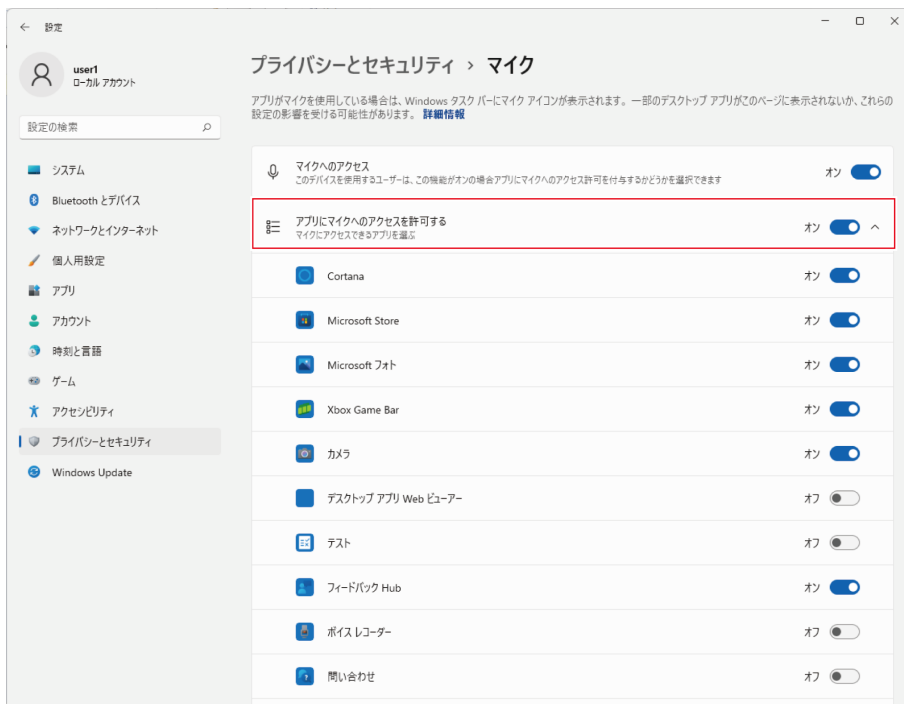
4 「マイクへのアクセス」が「オン」になっていることを確認します。



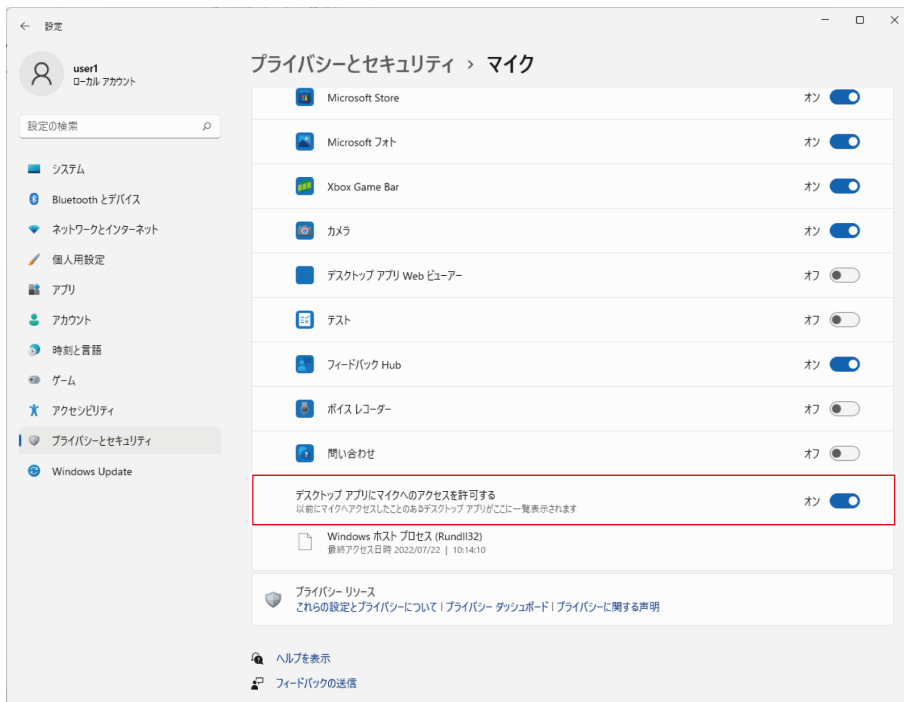
5 「アプリにマイクへのアクセスを許可する」が「オン」になっていることを確認し、一覧から使用する録音用ソフトウェアが「オン」になっていることを確認します。

- 「オン」になっていない場合は、使用する録音用ソフトウェアの設定を「オン」に変更してください。

パソコンの設定 (Windows)



- 6 「デスクトップ アプリにマイクへのアクセスを許可する」が「オン」になっていることを確認します。
- この設定を「オン」にすることで、録音用ソフトウェアが本製品にアクセスできるようになります。

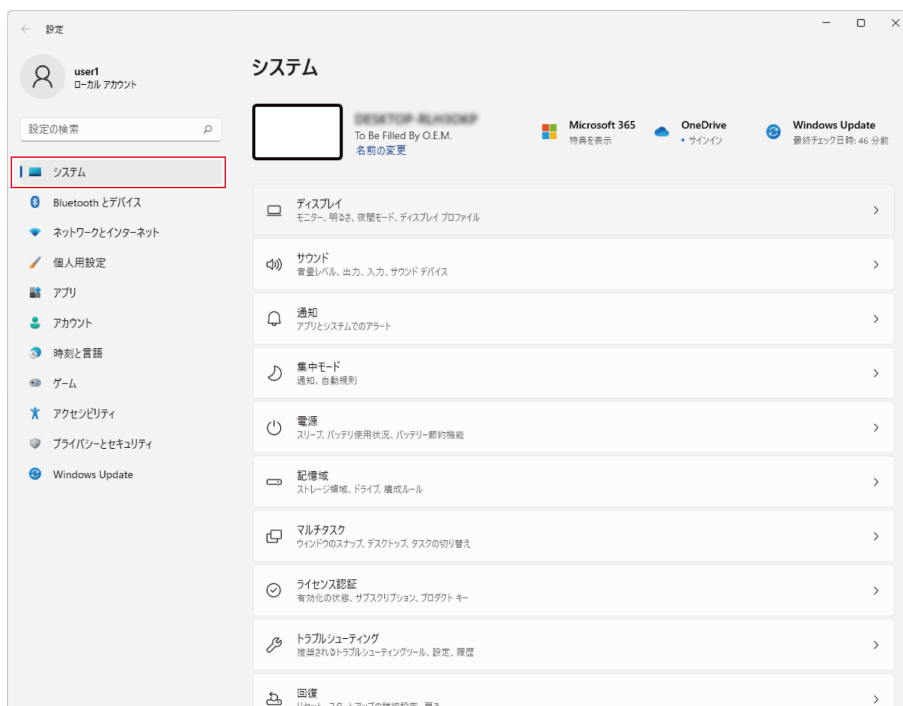


パソコンの設定 (Windows)

マイクロホンのプロパティの設定

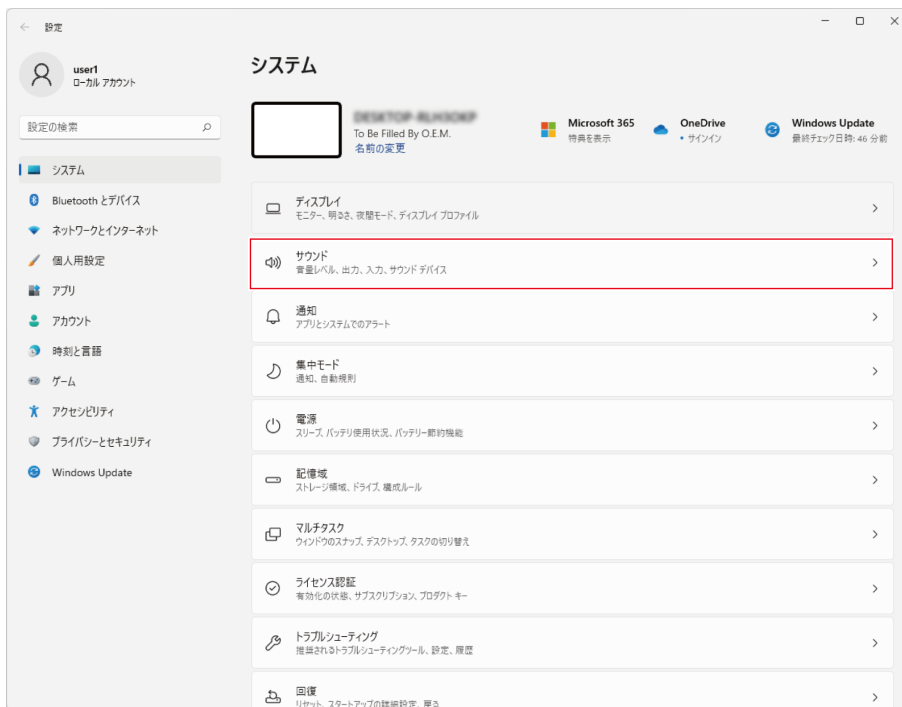
マイクロホンの音声入力レベルやサンプルレートを変更する場合は、次の設定を行います。

- 1 「スタートメニュー」をクリックし、「設定」を選択します。
- 2 「システム」を選択します。

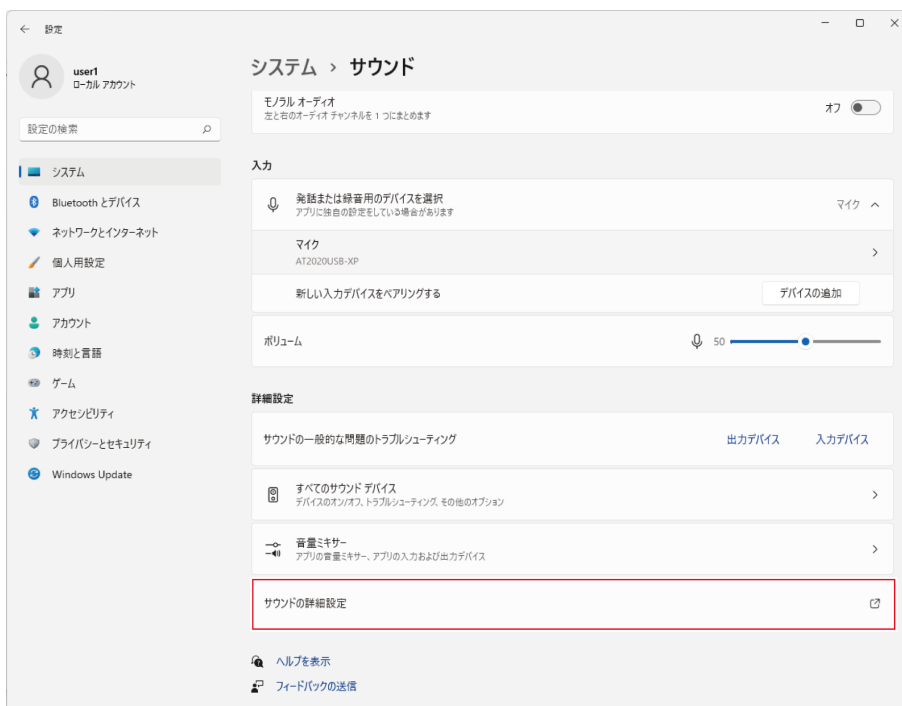


- 3 「サウンド」を選択します。

パソコンの設定 (Windows)



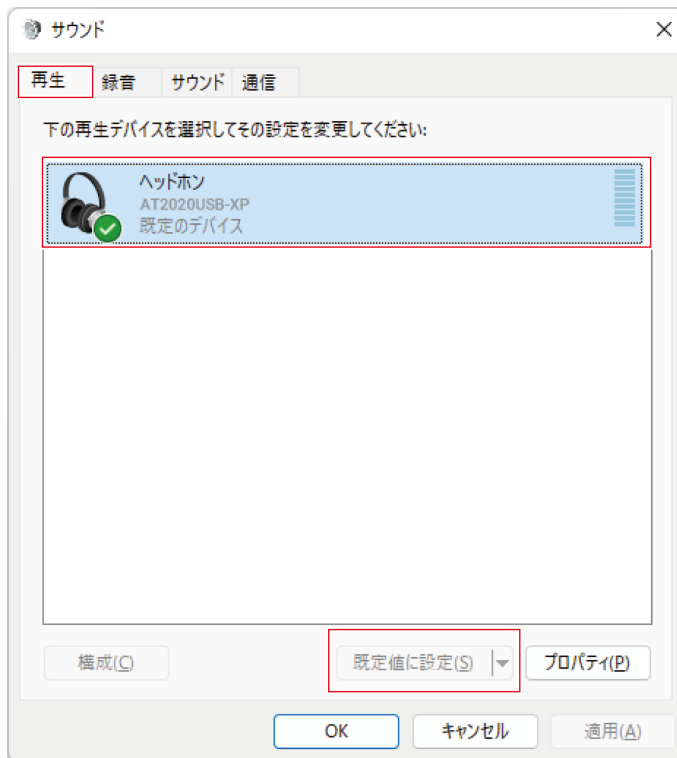
4 「詳細設定」で、「サウンドの詳細設定」を選択します。



パソコンの設定 (Windows)

5 「再生」タブで、本製品が選択されていることを確認します。

- 本製品が選択されていない場合は、本製品を選択し、「既定値に設定」をクリックします。



6 本製品のアイコンをダブルクリックし、プロパティを開きます。

7 「レベル」タブを選択して、マイクロホンのスピーカーアイコンがONになっていることを確認し、「OK」をクリックします。

- ONになっていない場合は、スピーカーアイコンをクリックし、ONにします。

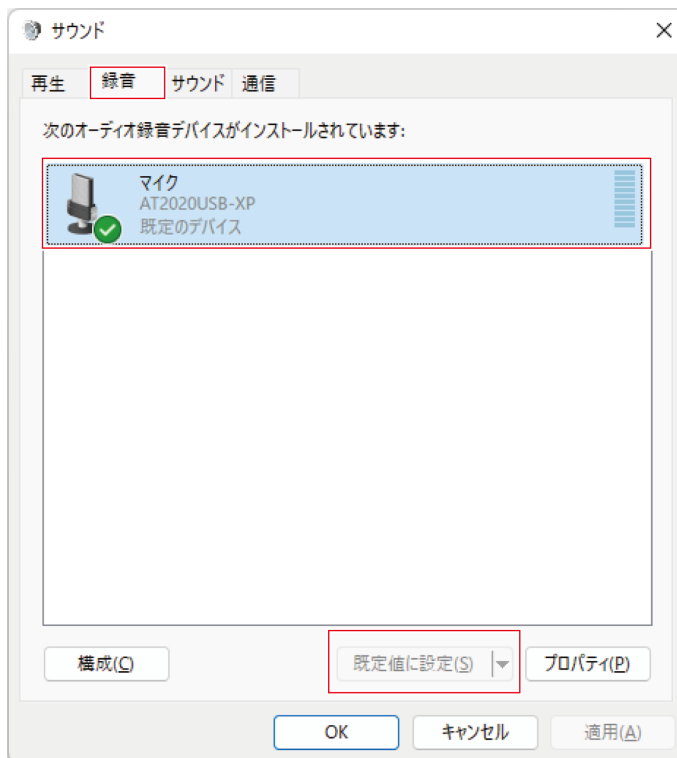
パソコンの設定 (Windows)



8 「録音」タブで、本製品が選択されていることを確認します。

- 本製品が選択されていない場合は、本製品を選択し、「既定値に設定」をクリックします。

パソコンの設定 (Windows)



9 本製品のアイコンをダブルクリックし、「マイクのプロパティ」ウインドウを開きます。

10 「レベル」タブを選択して、マイクロホンの音声入力レベルを調整します。

- 録音を開始後、マイクロホンの音声入力レベルを再調整するには、このウインドウから調整します。
- ここでの設定は「サウンド」ウインドウの「ボリューム」とは異なります。

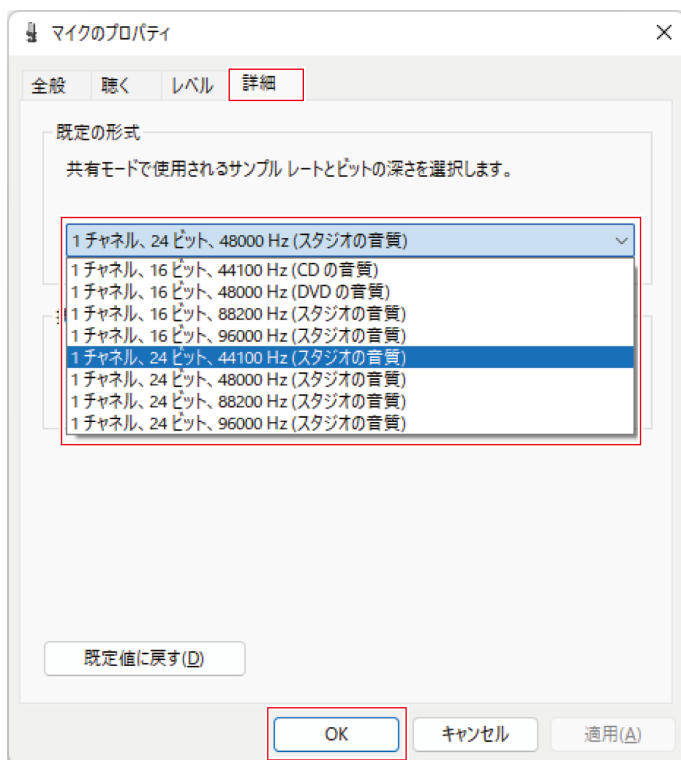
パソコンの設定 (Windows)



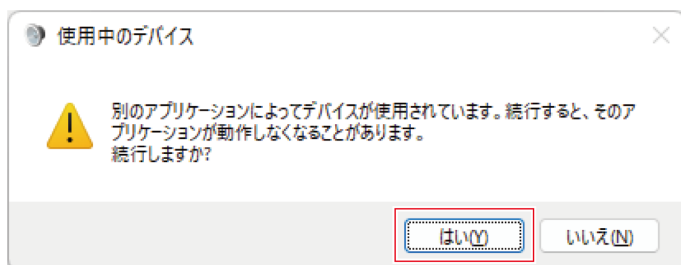
11 マイクロホンのサンプルレートを変更する場合は、「詳細」タブを選択して、「既定の形式」からサンプルレートとビット数を選択し、「OK」をクリックします。

- 本製品は最大192kHzまでのサンプルレートを選択できます。高いサンプルレートを選択することにより高品質で録音できる場合がありますが、録音データのファイルサイズも大きくなります。
- パソコンの負荷を減らして安定的に録音したい場合は、サンプルレートを48kHzに変更してください。
- 録音用ソフトウェア側でマイクロホンをコントロールする場合は、「排他モード」で「排他モードのアプリケーションを優先する」にチェックを付けてください。録音用ソフトウェアの設定に基づいたサンプルレートが設定されます。

パソコンの設定 (Windows)



12 「使用中のデバイス」についてのメッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。



13 「再生」タブの「詳細」タブを選択して、手順11で変更したサンプルレートとビット数と同じ項目を選択し、「OK」をクリックします。

- マイクロホンのサンプルレートを変更する場合は、必ず「再生・録音」のサンプリング周波数設定を同じにする必要があります。

14 「使用中のデバイス」についてのメッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。

パソコンの設定 (Windows)



- ミュートインジケータが点滅している場合、お使いのWindows PCの「再生・録音」のサンプリング周波数設定が異なっている状態です。サンプリング周波数設定の設定を合わせてください。
- オートゲインコントロールはサンプリング周波数が44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHzのときのみ使用できます。使用できないサンプリング周波数に設定した場合は、オートゲインコントロールボタンが3回点滅して消灯します（エラーを示しています）。対応しているサンプリング周波数に設定し直してください。
- ノイズリダクションはサンプリング周波数が44.1kHz、48kHzのときのみ使用できます。使用できないサンプリング周波数に設定した場合は、ノイズリダクションボタンが3回点滅して消灯します（エラーを示しています）。対応しているサンプリング周波数に設定し直してください。

Windows 10の場合

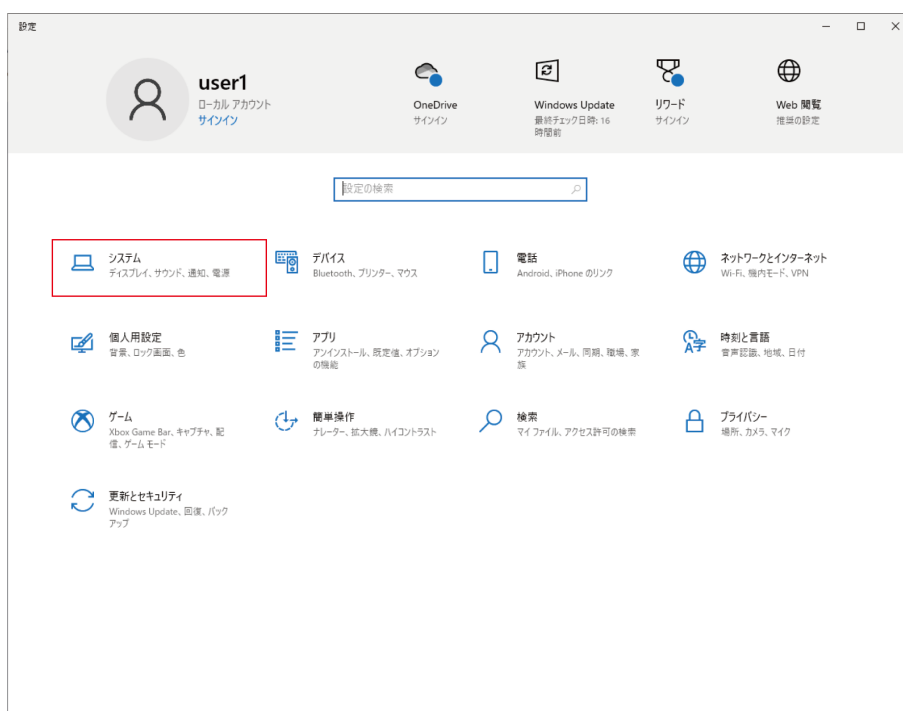
1 本製品とパソコンをUSBケーブルで接続します。

2 本製品のミュートインジケータが点灯していることを確認します。

- パソコンが本製品を自動的に認識し、パソコンにドライバがインストールされます。画面右下に、新たなハードウェアが見つかったことを示すメッセージ、またはドライバソフトウェアのインストールを知らせる内容が表示されます。

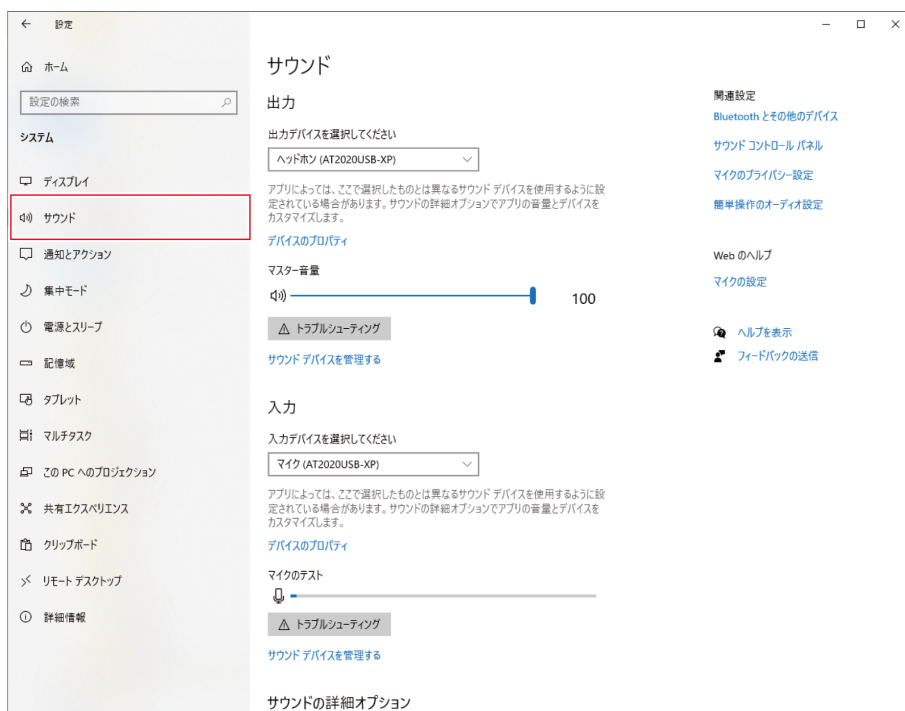
3 「スタートメニュー」をクリックし、「設定」を選択します。

4 「システム」を選択します。



パソコンの設定 (Windows)

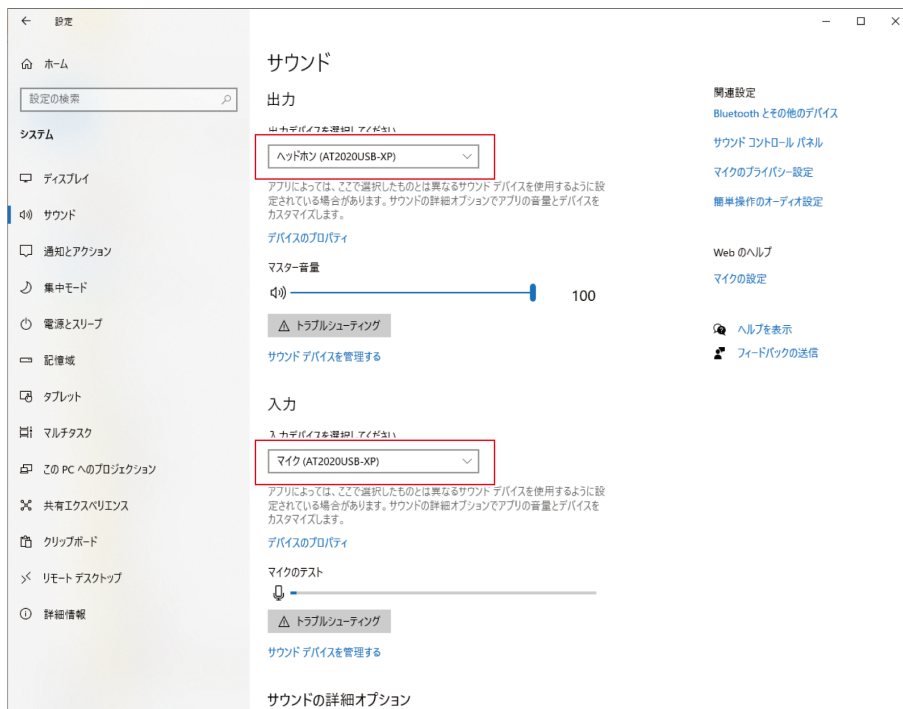
5 「サウンド」を選択します。



6 「出力」および「入力」で、本製品が選択されていることを確認します。

- 出力デバイスとして本製品以外のデバイスを使用する場合は、「出力デバイスを選択してください」から選択してください。
- 音声の録音に市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、「マイクロホンのプライバシー設定」(p.23)を参照し、設定を行ってください。

パソコンの設定 (Windows)

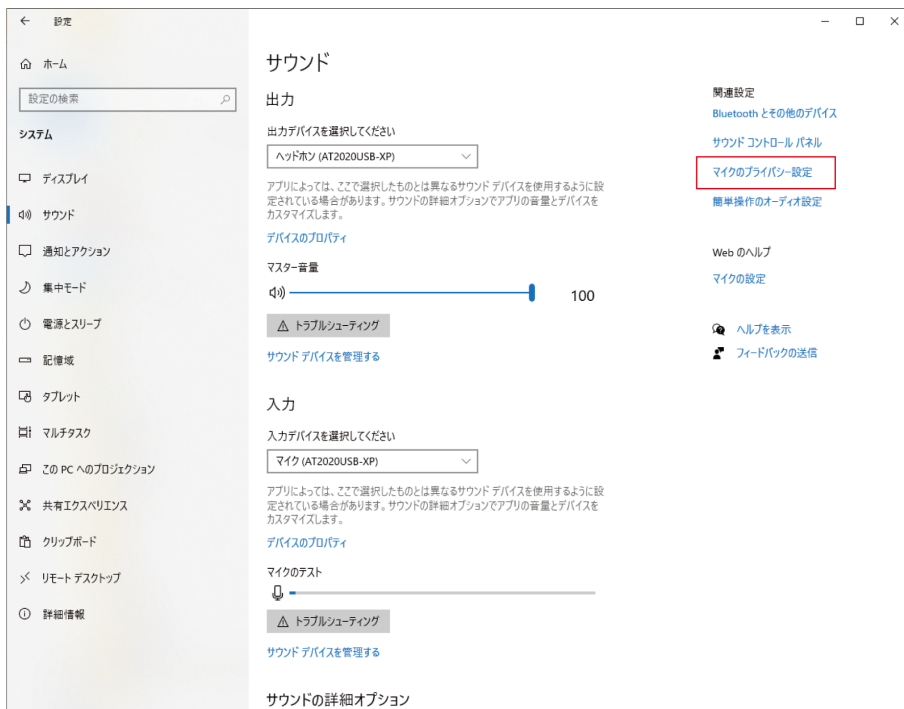


マイクロホンのプライバシー設定

市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、マイクロホンのプライバシー設定を確認してください。

- 1 「サウンド」 ウィンドウで、「マイクのプライバシー設定」を選択します。

パソコンの設定 (Windows)



2 「アプリがマイクにアクセスできるようにする」が「オン」になっていることを確認します。



パソコンの設定 (Windows)

3 「マイクにアクセスできるMicrosoft Storeアプリを選ぶ」で、使用する録音用ソフトウェアが「オン」になっていることを確認します。

- 「オン」になっていない場合は、使用する録音用ソフトウェアの設定を「オン」に変更してください。

4 「デスクトップアプリがマイクにアクセスできるようにする」が「オン」になっていることを確認します。

- この設定を「オン」にすることで、録音用ソフトウェアが本製品にアクセスできるようになります。

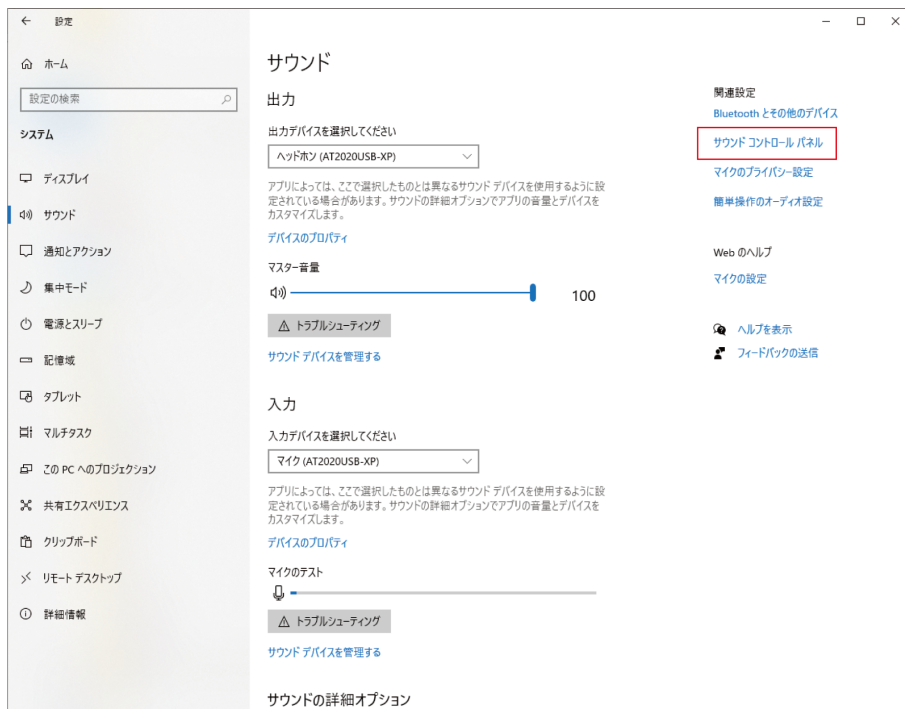


マイクロホンのプロパティの設定

マイクロホンの音声入力レベルやサンプルレートを変更する場合は、次の設定を行います。

1 「サウンド」ウインドウで、「サウンドコントロールパネル」を選択します。

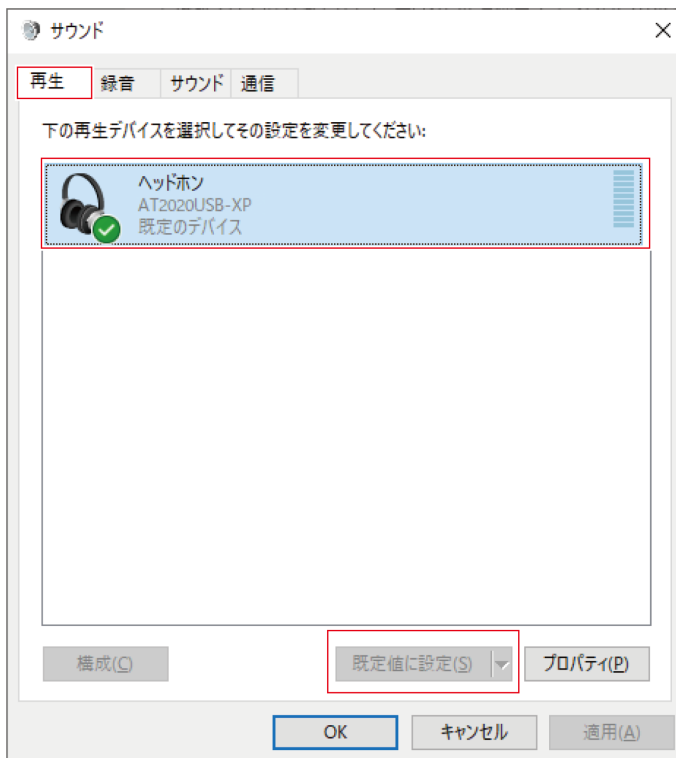
パソコンの設定 (Windows)



2 「再生」タブで、本製品が選択されていることを確認します。

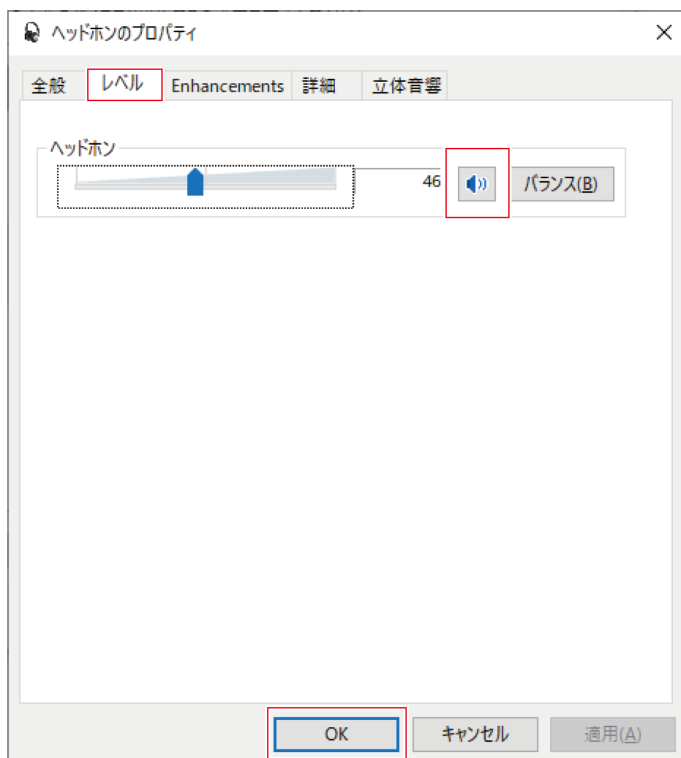
- 本製品が選択されていない場合は、本製品を選択し、「既定値に設定」をクリックします。

パソコンの設定 (Windows)



- 3 本製品のアイコンをダブルクリックし、プロパティを開きます。
- 4 「レベル」タブを選択して、マイクロホンのスピーカーアイコンがONになっていることを確認し、「OK」をクリックします。
 - ONになっていない場合は、スピーカーアイコンをクリックし、ONにします。

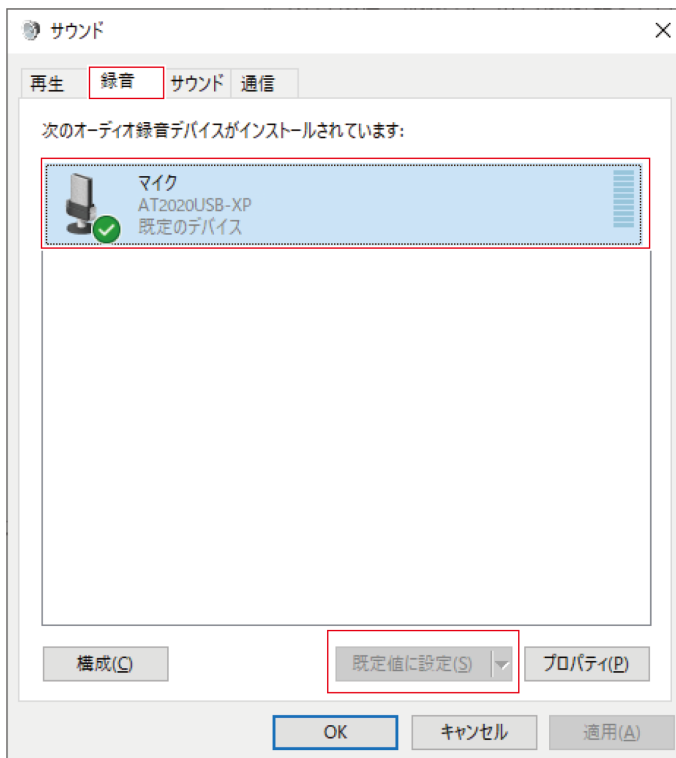
パソコンの設定 (Windows)



5 「録音」タブで、本製品が選択されていることを確認します。

- 本製品が選択されていない場合は、本製品を選択し、「既定値に設定」をクリックします。

パソコンの設定 (Windows)

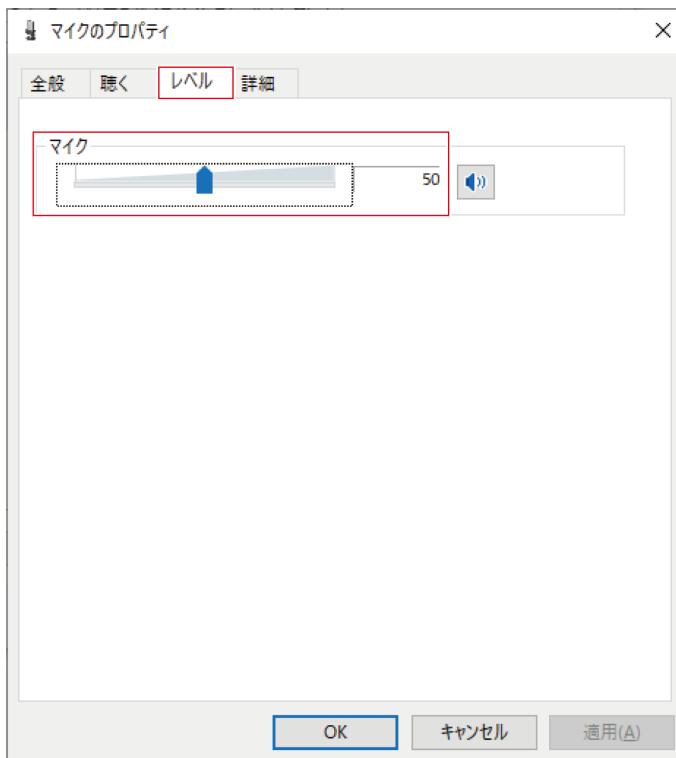


6 本製品のアイコンをダブルクリックし、プロパティを開きます。

7 「レベル」タブを選択して、マイクロホンの音声入力レベルを調整します。

- 録音を開始後、マイクロホンの音声入力レベルを再調整するには、このウインドウから調整します。
- ここでの設定は「サウンド」ウインドウの「マスター音量」とは異なります。

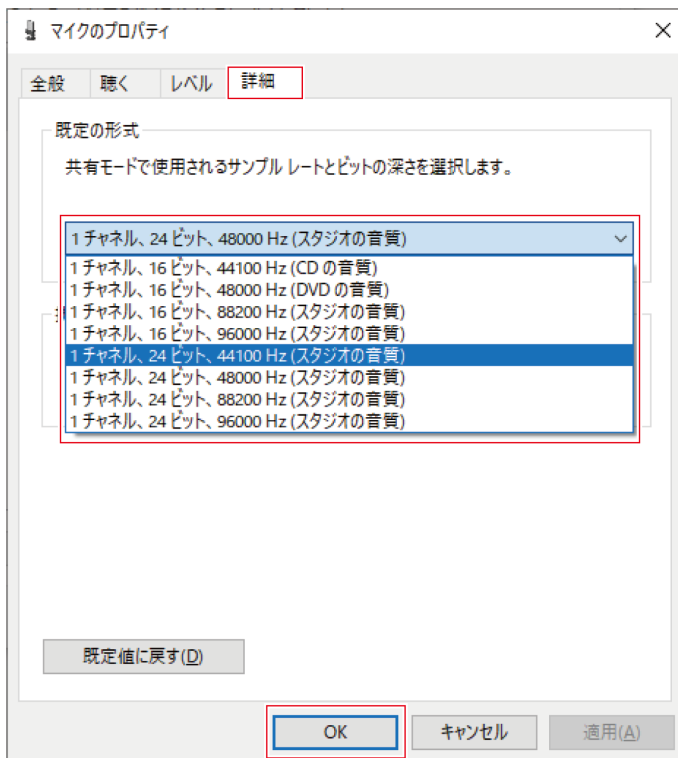
パソコンの設定 (Windows)



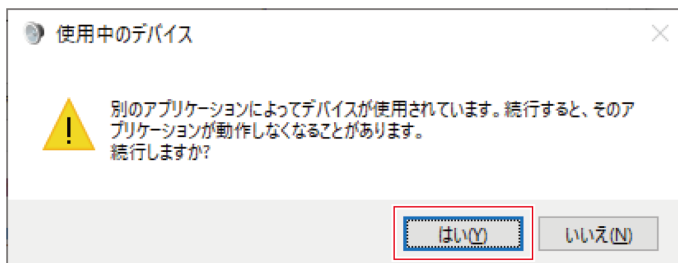
8 マイクロホンのサンプルレートを変更する場合は、「詳細」タブを選択して、「既定の形式」からサンプルレートとビット数を選択し、「OK」をクリックします。

- 本製品は最大192kHzまでのサンプルレートを選択できます。高いサンプルレートを選択することにより高品質で録音できる場合がありますが、録音データのファイルサイズも大きくなります。
- パソコンの負荷を減らして安定的に録音したい場合は、サンプルレートを48kHzに変更してください。
- 録音用ソフトウェア側でマイクロホンをコントロールする場合は、「排他モード」で「排他モードのアプリケーションを優先する」にチェックを付けてください。録音用ソフトウェアの設定に基づいたサンプルレートが設定されます。

パソコンの設定 (Windows)



- 9 「使用中のデバイス」についてのメッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。



- 10 「再生」タブの「詳細」タブを選択して、手順8で変更したサンプルレートとビット数と同じ項目を選択し、「OK」をクリックします。
- マイクロホンのサンプルレートを変更する場合は、必ず「再生・録音」のサンプリング周波数設定を同じにする必要があります。
- 11 「使用中のデバイス」についてのメッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。

パソコンの設定 (Windows)

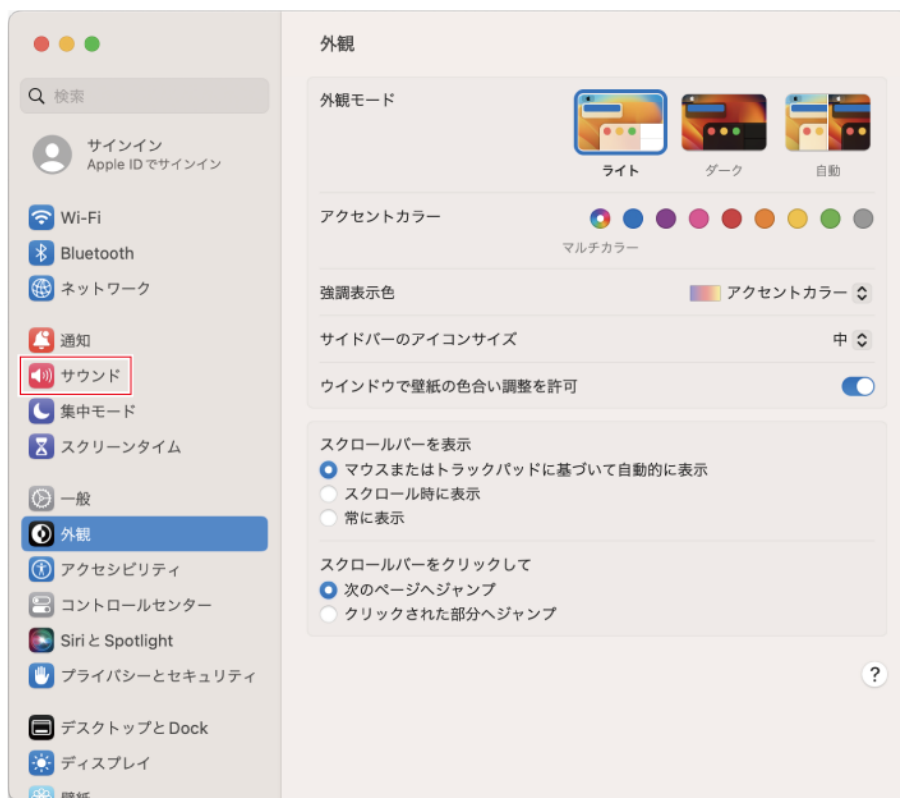


- ミュートインジケータが点滅している場合、お使いのWindows PCの「再生・録音」のサンプリング周波数設定が異なっている状態です。サンプリング周波数設定の設定を合わせてください。
- オートゲインコントロールはサンプリング周波数が44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHzのときのみ使用できます。使用できないサンプリング周波数に設定した場合は、オートゲインコントロールボタンが3回点滅して消灯します（エラーを示しています）。対応しているサンプリング周波数に設定し直してください。
- ノイズリダクションはサンプリング周波数が44.1kHz、48kHzのときのみ使用できます。使用できないサンプリング周波数に設定した場合は、ノイズリダクションボタンが3回点滅して消灯します（エラーを示しています）。対応しているサンプリング周波数に設定し直してください。

パソコンの設定 (macOS)

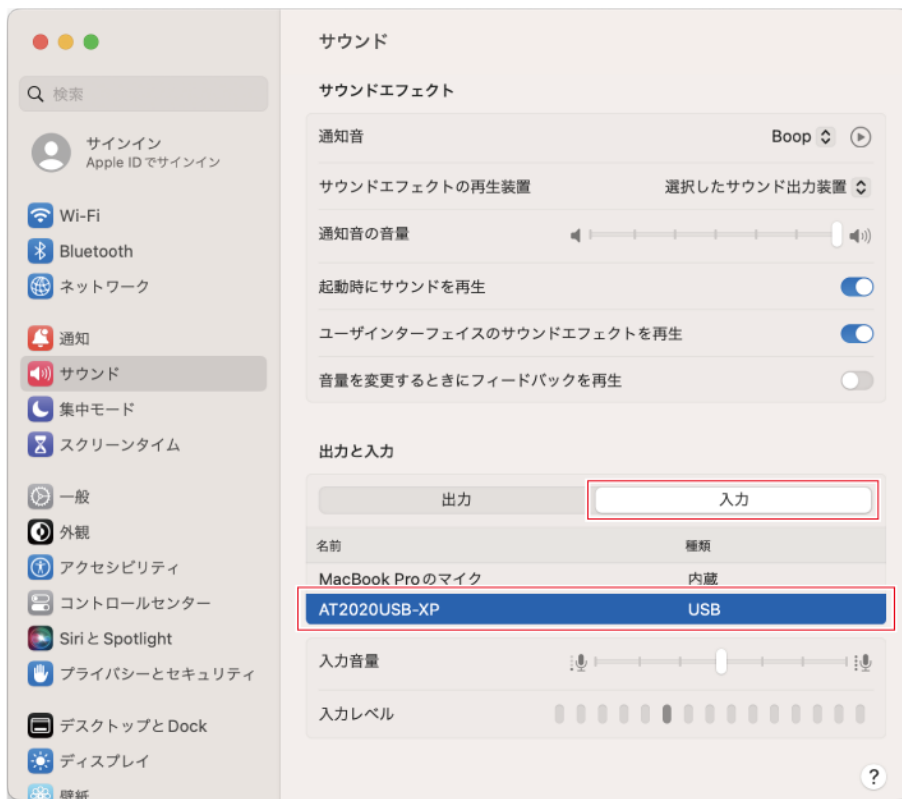
macOS Venturaの場合

- 1 本製品とパソコンをUSBケーブルで接続します。
- 2 本製品のミュートインジケーターが点灯していることを確認します。
 - パソコンが本製品を自動的に認識し、パソコンにドライバーがインストールされます。
- 3 Appleアイコンから「システム設定」を選択します。
- 4 「サウンド」を選択します。



- 5 「入力」タブで、本製品が選択されていることを確認します。

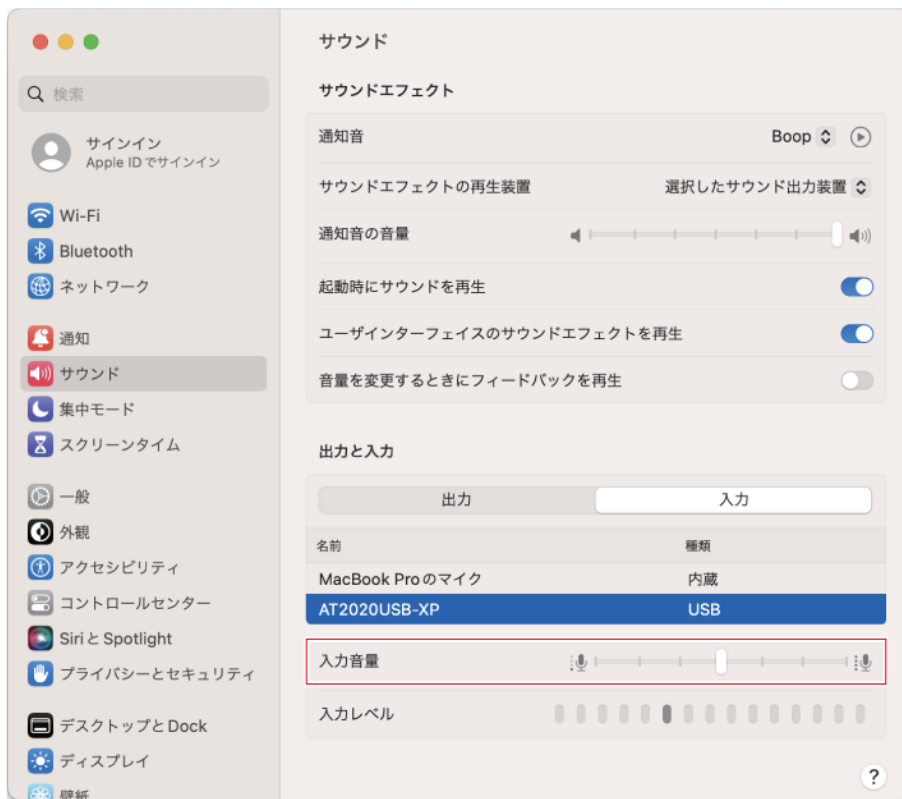
パソコンの設定 (macOS)



6 「入力音量」で、マイクロホンの音声入力レベルを調整します。

- マイクロホンに話しかけると「入力レベル」の目盛りが移動するので、その目盛りを見ながら入力音量を調整できます。

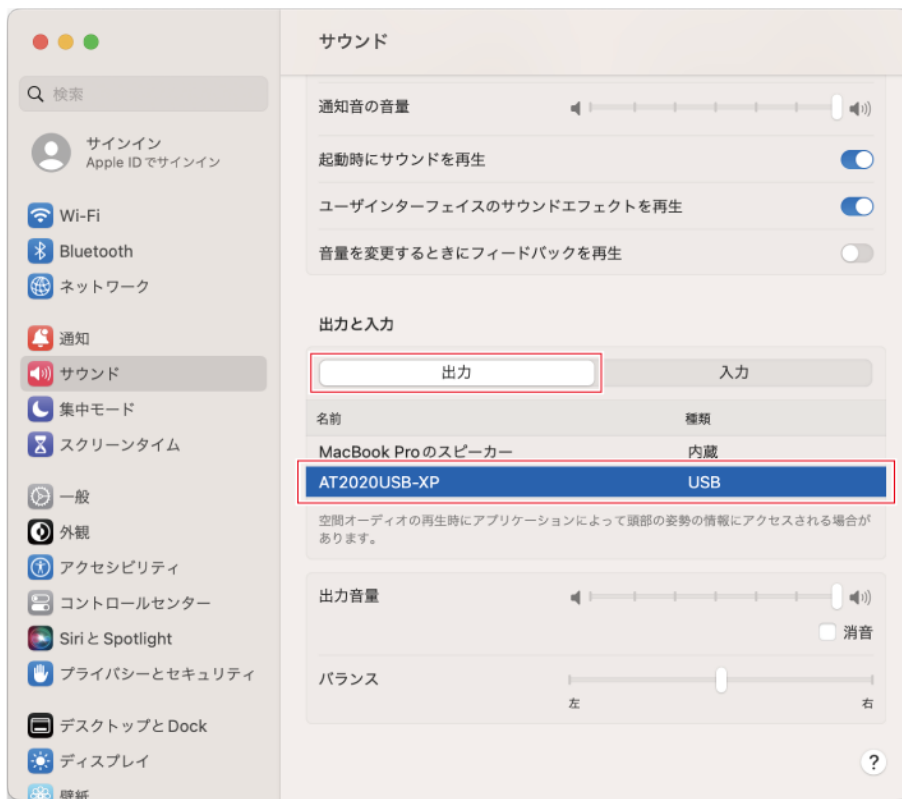
パソコンの設定 (macOS)



7 「出力」タブで、本製品が選択されていることを確認します。

- サウンドを出力する装置として本製品以外の装置を使用する場合は、リストから選択してください。
- 「出力音量」では、パソコンからの再生レベルを調整します。
- 「バランス」で左右の音量のバランスを設定できます。
- 音声の録音に市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、「プライバシーとセキュリティ設定」(p.36)を参照し、設定を行ってください。

パソコンの設定 (macOS)

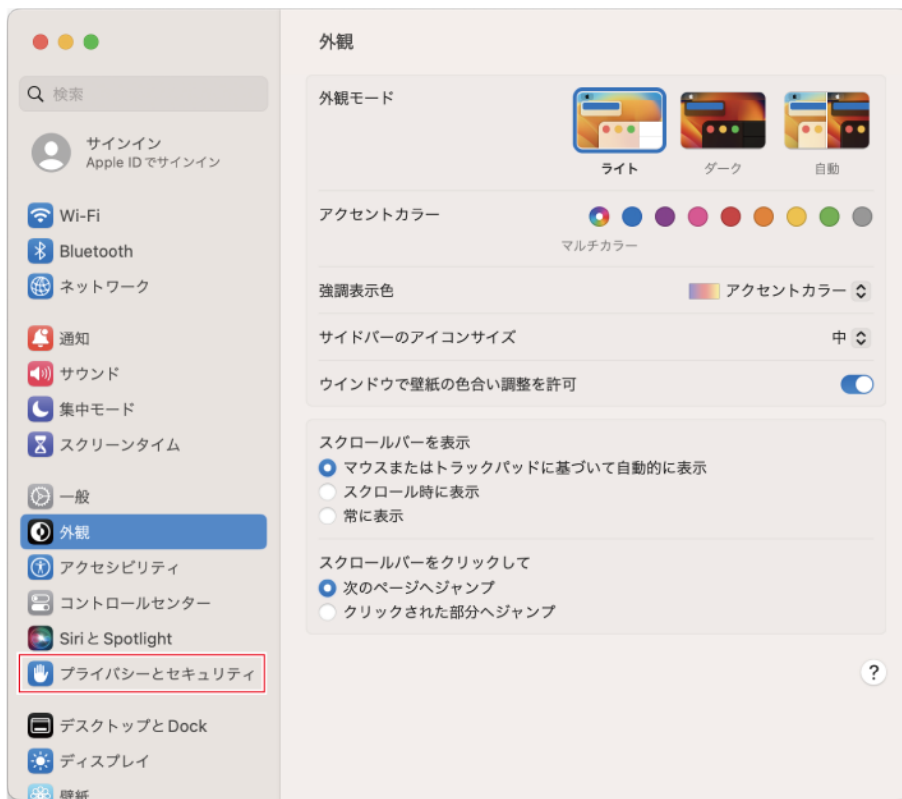


プライバシーとセキュリティ設定

- 市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、プライバシーとセキュリティ設定を確認してください。
- 市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、macOSに対応しているソフトウェアをご使用ください。

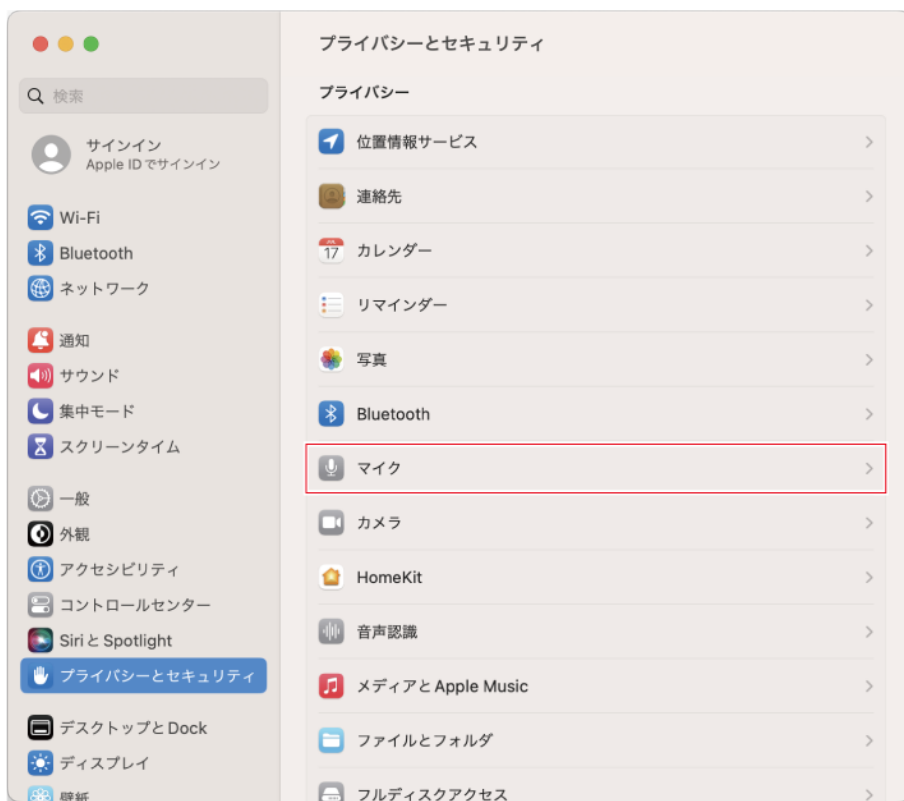
1 「システム設定」ウインドウで、「プライバシーとセキュリティ」を選択します。

パソコンの設定 (macOS)



2 「プライバシー」から「マイク」を選択します。

パソコンの設定 (macOS)



3 使用する録音用ソフトウェアが有効になっていることを確認します。

- 有効になっていない場合は、使用する録音用ソフトウェアの横にあるチェックボックスにチェックを付けてください。

オーディオ装置の設定

マイクロホンのサンプルレートを変更する場合は、次の設定を行います。

1 「アプリケーション」フォルダの「ユーティリティ」フォルダにある「Audio MIDI設定」を開きます。

2 「オーディオ装置」で本製品を選択して、「入力」タブの「フォーマット」からサンプルレートとビット数を選択します。

- 本製品は2種類表示されますが、「AT2020USB-XP 2 (入力1 / 出力0)」と表示されている方を選択してください。
- 本製品は最大192kHzまでのサンプルレートを選択できます。高いサンプルレートを選択することにより高品質で録音できる場合がありますが、録音データのファイルサイズも大きくなります。
- パソコンの負荷を減らして安定的に録音したい場合は、サンプルレートを48kHzに変更してください。
- サンプルレートは録音用ソフトウェアで設定した値と一致させてください。ノイズが発生する場合があります。

パソコンの設定 (macOS)

3 「AT2020USB-XP 1 (入力0 / 出力2)」と表示されている方を選択して、「出力」タブの「フォーマット」から手順2の操作と同様にサンプルレートとビット数を選択します。

- マイクロホンのサンプルレートを変更する場合は、必ず「出力・入力」のサンプリング周波数設定を同じにする必要があります。



- ミュートインジケータが点滅している場合、お使いのMacの「出力・入力」のサンプリング周波数設定が異なっている状態です。サンプリング周波数設定の設定を合わせてください。
- オートゲインコントロールはサンプリング周波数が44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHzのときのみ使用できます。使用できないサンプリング周波数に設定した場合は、オートゲインコントロールボタンが3回点滅して消灯します（エラーを示しています）。対応しているサンプリング周波数に設定し直してください。
- ノイズリダクションはサンプリング周波数が44.1kHz、48kHzのときのみ使用できます。使用できないサンプリング周波数に設定した場合は、ノイズリダクションボタンが3回点滅して消灯します（エラーを示しています）。対応しているサンプリング周波数に設定し直してください。

macOS Catalina / macOS Big Sur / macOS Montereyの場合

1 本製品とパソコンをUSBケーブルで接続します。

2 本製品のミュートインジケータが点灯していることを確認します。

- パソコンが本製品を自動的に認識し、パソコンにドライバーがインストールされます。

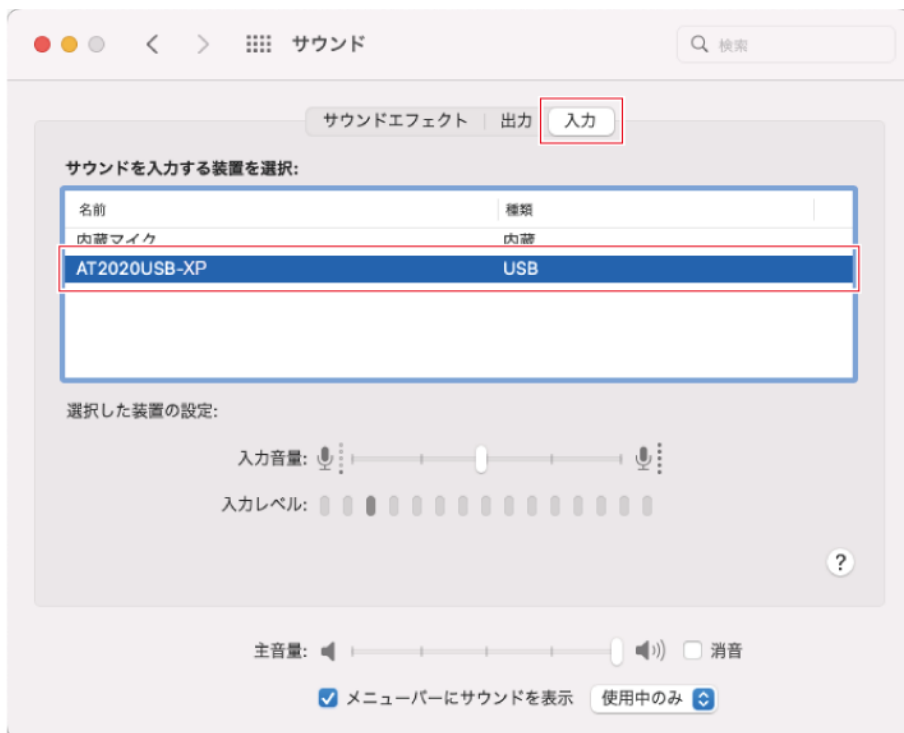
3 Appleアイコンから「システム環境設定」を選択します。

4 「サウンド」を選択します。

パソコンの設定 (macOS)



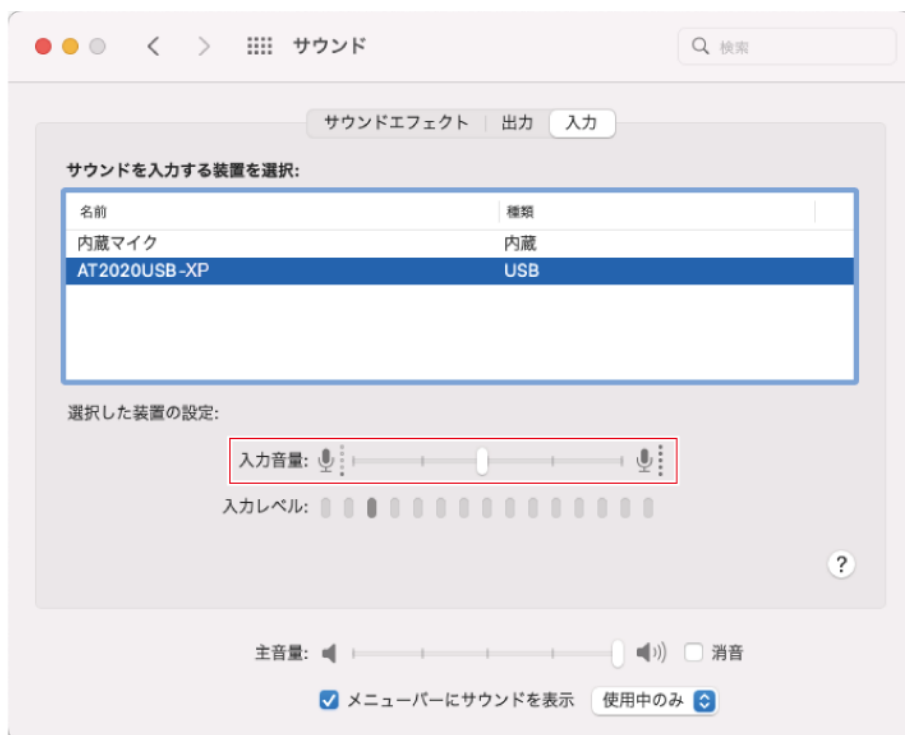
5 「入力」タブで、本製品が選択されていることを確認します。



パソコンの設定 (macOS)

6 「入力音量」で、マイクロホンの音声入力レベルを調整します。

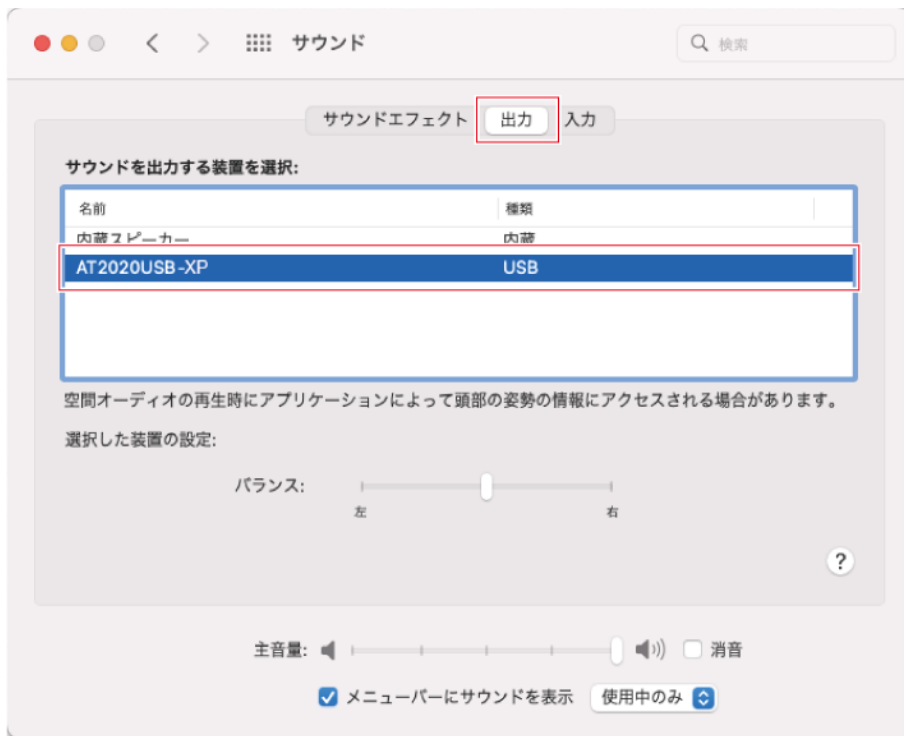
- マイクロホンに話しかけると「入力レベル」の目盛りが移動するので、その目盛りを見ながら入力音量を調整できます。
- 「主音量」では、パソコンのスピーカーやヘッドホンジャックへの音量を調整します。マイクロホンの音声入力レベルの調整とは異なります。



7 「出力」タブで、本製品が選択されていることを確認します。

- サウンドを出力する装置として本製品以外の装置を使用する場合は、「サウンドを出力する装置の選択」から選択してください。
- 「バランス」で左右の音量のバランスを設定できます。
- 「主音量」では、パソコンからの再生レベルを調整します。
- 音声の録音に市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、「セキュリティとプライバシー設定」(p.42)を参照し、設定を行ってください。

パソコンの設定 (macOS)



セキュリティとプライバシー設定

- 市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、セキュリティとプライバシー設定を確認してください。
- 市販の録音用ソフトウェアを使用する場合は、macOSに対応しているソフトウェアをご使用ください。

1 「システム環境設定」ウィンドウで、「セキュリティとプライバシー」を選択します。

パソコンの設定 (macOS)



2 「プライバシー」タブで、「マイク」を選択します。

パソコンの設定 (macOS)



3 使用する録音用ソフトウェアが有効になっていることを確認します。

- 有効になっていない場合は、使用する録音用ソフトウェアの横にあるチェックボックスにチェックを付けてください。
- 「セキュリティとプライバシー」の設定を変更するには、画面左下のカギのロックを解除する必要があります。カギをクリックするとロックの解除についての画面が表示されるので、ユーザ名とパスワードを入力し「ロックを解除」をクリックしてください。設定を変更した後はロックを戻してください。

オーディオ装置の設定

マイクロホンのサンプルレートを変更する場合は、次の設定を行います。

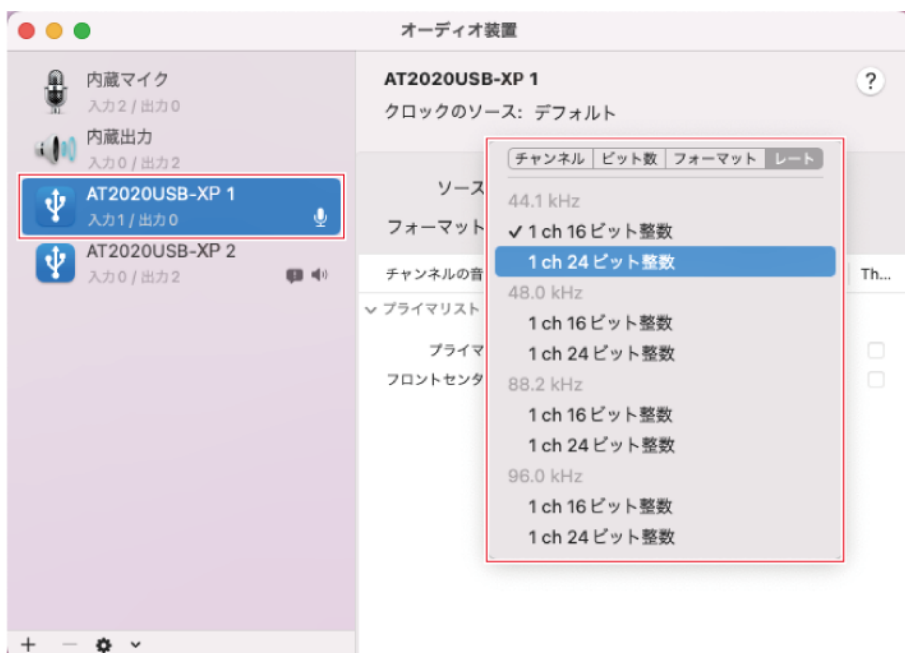
1 「アプリケーション」フォルダの「ユーティリティ」フォルダにある「Audio MIDI設定」を開きます。

2 「オーディオ装置」で本製品を選択して、「入力」タブの「フォーマット」からサンプルレートとビット数を選択します。

- 本製品は2種類表示されますが、「AT2020USB-XP 1 (入力1 / 出力0)」と表示されている方を選択してください。
- 本製品は最大192kHzまでのサンプルレートを選択できます。高いサンプルレートを選択することにより高品質で録音できる場合がありますが、録音データのファイルサイズも大きくなります。

パソコンの設定 (macOS)

- パソコンの負荷を減らして安定的に録音したい場合は、サンプルレートを48kHzに変更してください。
- サンプルレートは録音用ソフトウェアで設定した値と一致させてください。ノイズが発生する場合があります。



3 「AT2020USB-XP 2 (入力0 / 出力2)」と表示されている方を選択して、「出力」タブの「フォーマット」から手順2の操作と同様にサンプルレートとビット数を選択します。

- マイクロホンのサンプルレートを変更する場合は、必ず「出力・入力」のサンプリング周波数設定を同じにする必要があります。

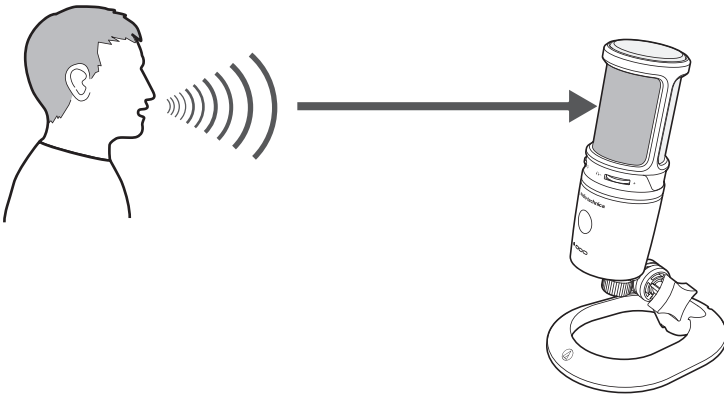


- ミュートインジケータが点滅している場合、お使いのMacの「出力・入力」のサンプリング周波数設定が異なっている状態です。サンプリング周波数設定の設定を合わせてください。
- オートゲインコントロールはサンプリング周波数が44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHzのときのみ使用できます。使用できないサンプリング周波数に設定した場合は、オートゲインコントロールボタンが3回点滅して消灯します（エラーを示しています）。対応しているサンプリング周波数に設定し直してください。
- ノイズリダクションはサンプリング周波数が44.1kHz、48kHzのときのみ使用できます。使用できないサンプリング周波数に設定した場合は、ノイズリダクションボタンが3回点滅して消灯します（エラーを示しています）。対応しているサンプリング周波数に設定し直してください。

使いかた

マイクホンの向きについて

- 本製品を使用する際は、オーディオテクニカロゴ面に向かって話しかけてください。
- 本製品と音源は近くに設定してください。対象音源以外のノイズを拾いにくくなります。
- 風や息のノイズが入る場合は、音源の正面から少しずらし、話者のほうに向けて使用してください。



録音用ソフトウェアを使用する

本製品に録音用ソフトウェアは付属していません。本製品を使用して録音をする場合は、別途録音用ソフトウェアをご使用ください。音声の入出力設定など録音用ソフトウェアで設定が必要になる場合があります。詳しくは録音用ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

音声入力レベルを調整する

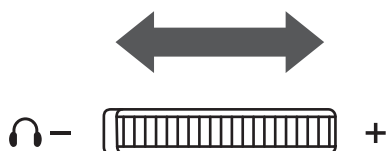
最適な性能を発揮させるために、本製品の音声入力レベルを適切に調整することが必要です。音声が歪んだり、ご使用の録音用ソフトウェアが常にピークなレベルであることが表示されたりする場合は、コントロールパネル（macOSの場合、システム設定またはシステム環境設定）の設定、または使用する録音用ソフトウェアで本製品の音量を小さくしてください。本製品の音声入力レベルが不十分であると感じられた場合、コントロールパネル（macOSの場合、システム環境設定）の設定、またはご使用の録音用ソフトウェアで、本製品の音声入力レベルを大きくしてください。そのあとは、音源の音量が大きく変化しない限り、本製品の音量調整は必要ありません。

ヘッドホンを取り付けて使用する

ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続して録音をモニターできます。また、パソコンからの音源を聴きながら、本製品へ入力中の音声を直接モニターできます。

使いかた

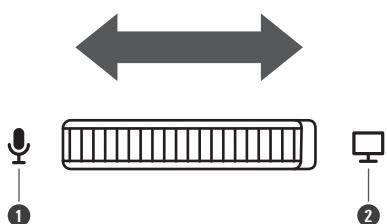
- 1 ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続します。
- 2 ヘッドホン音量調整ダイヤルを回して音量を調整します。



- ヘッドホン音量調整ダイヤルは、ヘッドホン出力の音量調整のみ行います。本製品の音声入力レベルの調整はできません。

ミキサー調整ダイヤルを使用する

本製品では、パソコンからの音源を聴きながら、本製品へ入力中の音声を直接モニターできます。ミキサー調整ダイヤルで、入力中音声のモニター音量レベルと、パソコンに保存された音源の音量レベルとのバランスを調整することができます。



- ① マイクロホン側に回すと、入力中音声のモニター音量レベルが大きくなる
- ② パソコン側に回すと、パソコンに保存された音源の音量レベルが大きくなる

ミュートする

ミュートON/OFFを行います。

- 1 ミュートタッチセンサーをタッチします。
 - タッチするたびにミュートON（赤色点灯） / OFF（青色点灯）が切り替わります。

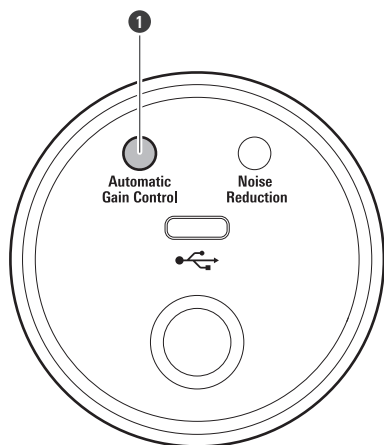


オートゲインコントロール

入力信号が過大だった際にゲインを自動補正し、出力が歪むのを防止する補助機能です。この機能はマイクロホンのゲイン設定を最適化します。

1 オートゲインコントロールボタンを押します。

- ボタンを押すとオートゲインコントロールインジケーターが点灯し、ONになります。



使いかた

① オートゲインコントロールボタン



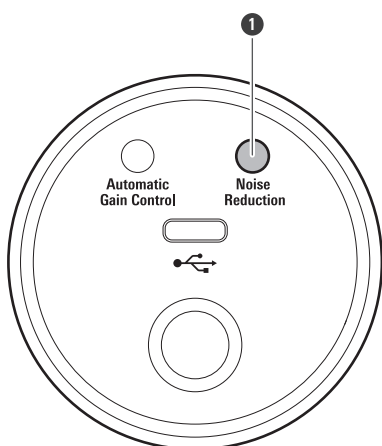
- オートゲインコントロールはサンプリング周波数が44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHzのときのみ使用できます。使用できないサンプリング周波数に設定した場合は、オートゲインコントロールボタンが3回点滅して消灯します（エラーを示しています）。対応しているサンプリング周波数に設定し直してください。

ノイズリダクション

周囲の定常的騒音を低減する機能です。

① ノイズリダクションボタンを押します。

- ボタンを押すたびに機能レベルが上がり、ノイズリダクションインジケータが3段階で点灯します。
- 最高の音質を得るためには、ノイズリダクション機能のレベルは環境に合わせて必要最小限で使用してください。



① ノイズリダクションボタン



- ご使用のソフトウェアにノイズリダクション機能がある場合、本製品のノイズリダクション機能との併用により、音声に影響を及ぼす場合があります。その場合は、どちらか一方のノイズリダクション機能をOFFにしてください。
- ノイズリダクションはサンプリング周波数が44.1kHz、48kHzのときのみ使用できます。使用できないサンプリング周波数に設定した場合は、ノイズリダクションボタンが3回点滅して消灯します（エラーを示しています）。対応しているサンプリング周波数に設定し直してください。

お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

- 乾いた布で本製品の汚れを拭いてください。
- ケーブルが汗などで汚れた場合は、使用后すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、ケーブルが劣化して固くなり、故障の原因になります。



- 長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。

故障かな？と思ったら

① ミュートインジケータが点滅する

- お使いのWindows PCの「再生・録音」、またはMacの「出力・入力」のサンプリング周波数設定が異なっている状態です。サンプリング周波数設定の設定を合わせてください。設定については「パソコンの設定 (Windows)」(p.8)、「パソコンの設定 (macOS)」(p.33)をご確認ください。

② オートゲインコントロールが機能しない

- オートゲインコントロールはサンプリング周波数が44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHzのときのみ使用できます。使用できないサンプリング周波数に設定した場合は、オートゲインコントロールボタンが3回点滅して消灯します（エラーを示しています）。対応しているサンプリング周波数に設定し直してください。

③ ノイズリダクションが機能しない

- ノイズリダクションはサンプリング周波数が44.1kHz、48kHzのときのみ使用できます。使用できないサンプリング周波数に設定した場合は、ノイズリダクションボタンが3回点滅して消灯します（エラーを示しています）。対応しているサンプリング周波数に設定し直してください。

④ 本製品が認識されない

- USBケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
- USBハブなどを使用している場合は、取り外してください。本製品とパソコンをUSBケーブルで直接接続してください。
- 対応OSをご確認ください。
- ご使用のパソコンによっては本製品が正しく動作しない場合があります。対処方法について当社ホームページにご案内を用意しておりますのでご確認ください。

⑤ 音が出ない

- ミュートをONにしていないかご確認ください。
- ご使用のパソコンによっては本製品が正しく動作しない場合があります。対処方法について当社ホームページにご案内を用意しておりますのでご確認ください。

⑥ 音が歪む

- マイクロホンの音声入力レベルを下げて歪みを防いでください。設定については「パソコンの設定 (Windows)」(p.8)、「パソコンの設定 (macOS)」(p.33)をご確認ください。
- ご使用のパソコンによっては本製品が正しく動作しない場合があります。対処方法について当社ホームページにご案内を用意しておりますのでご確認ください。

① 録音した音声が増速で再生される

- お使いのWindows PCの「再生・録音」、またはMacの「出力・入力」のサンプリング周波数設定が異なっている状態です。サンプリング周波数設定の設定を合わせてください。設定について詳しくは「パソコンの設定（Windows）」(p.8)、「パソコンの設定（macOS）」(p.33)をご確認ください。
- ご使用のパソコンによっては本製品が正しく動作しない場合があります。対処方法について当社ホームページにご案内を用意しておりますのでご確認ください。

対応ビット数／サンプリング周波数

本製品は次の対応ビット数／サンプリング周波数に対応しています。

録音（出力）	再生（入力）
1ch、16bit、44100Hz	2ch、16bit、44100Hz
1ch、16bit、48000Hz	2ch、16bit、48000Hz
1ch、16bit、88200Hz ^[2]	2ch、16bit、88200Hz ^[2]
1ch、16bit、96000Hz ^[2]	2ch、16bit、96000Hz ^[2]
1ch、16bit、192000Hz ^{[1][2]}	2ch、16bit、192000Hz ^{[1][2]}
1ch、24bit、44100Hz	2ch、24bit、44100Hz
1ch、24bit、48000Hz	2ch、24bit、48000Hz
1ch、24bit、88200Hz ^[2]	2ch、24bit、88200Hz ^[2]
1ch、24bit、96000Hz ^[2]	2ch、24bit、96000Hz ^[2]
1ch、24bit、192000Hz ^{[1][2]}	-

[1]オートゲインコントロールは使用できません。

[2]ノイズリダクションは使用できません。

オートゲインコントロールの制限事項

オートゲインコントロールはサンプリング周波数が44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHzのときのみ使用できます。使用できないサンプリング周波数に設定した場合は、オートゲインコントロールボタンが3回点滅して消灯します（エラーを示しています）。対応しているサンプリング周波数に設定し直してください。

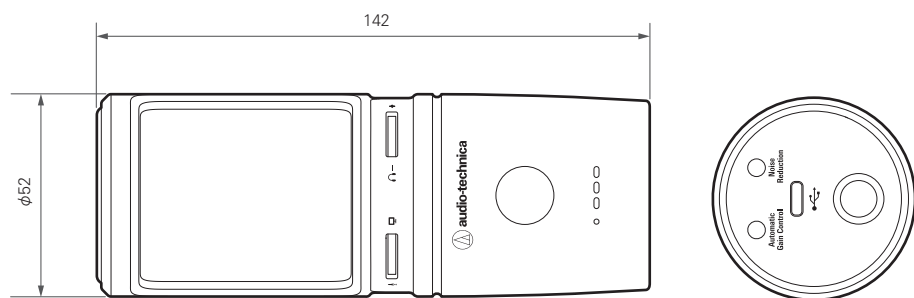
ノイズリダクションの制限事項

ノイズリダクションはサンプリング周波数が44.1kHz、48kHzのときのみ使用できます。使用できないサンプリング周波数に設定した場合は、ノイズリダクションボタンが3回点滅して消灯します（エラーを示しています）。対応しているサンプリング周波数に設定し直してください。



- 24bit、192kHzでの再生は非対応です。

外形寸法図



(単位:mm)

テクニカルデータ

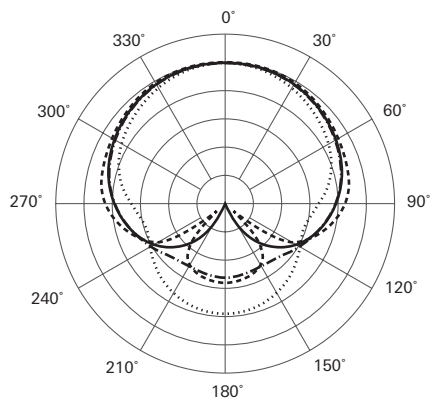
必要システム仕様	USB2.0準拠
対応OS	Windows 10、Windows 11 macOS Catalina、macOS Big Sur、macOS Monterey、macOS Ventura (最新の情報は、製品ホームページをご確認ください。)
型式	バックエレクトレット・コンデンサー型
指向特性	単一指向性
周波数特性	20~20,000Hz
電源	USB電源 (DC5V)
ビット数	16bit/24bit
対応サンプリング周波数	44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/192kHz ^[1]
コントロール	ヘッドホン音量調整、ミキサー調整、ミュート、オートゲインコントロール、ノイズリダクション
外形寸法	φ52mm×142mm
質量	約375g
出力コネクタ	USB Type-C
ヘッドホン出力	110mW (1kHz、1% T.H.D.、32Ω時)
ヘッドホン出力端子	φ3.5mmステレオミニジャック
付属品	スタンド (AT8702)、ポップフィルター (AT8175)、変換ねじ (3/8"-16-5/8"-27)、USBケーブル (約2.0m、USB Type-C - USB Type-A)、USB変換アダプター (USB Type-A - USB Type-C)

[1] 24bit、192kHzでの再生は非対応。

- 改良などのため予告なく変更することがあります。

指向特性 / 周波数特性

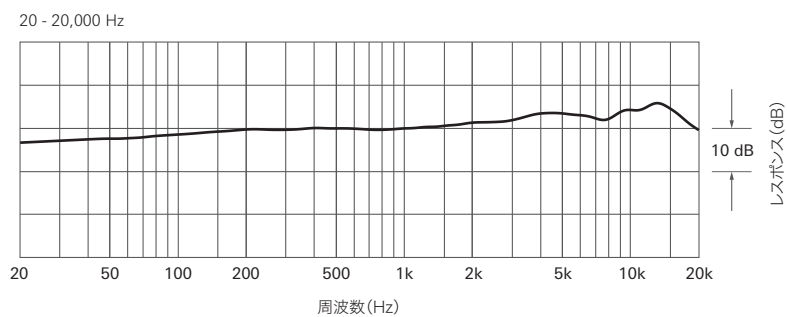
指向特性



凡例

-----	200 Hz	音圧スケールは1目盛5dB
————	1 kHz	
.....	5 kHz	
-----	8 kHz	

周波数特性



凡例

————	0°, 50cm
------	----------

商標について

- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。
- Mac、macOSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp

Audio-Technica Corporation

2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan
www.audio-technica.com
©2023 Audio-Technica Corporation
Global Support Contact: www.at-globalsupport.com